

消防試験研究センターだより vol.379

Voice...7

2020



top

新型コロナ流行期にはインクルーシブ防災を地域総働で

こだま

会津工業高等学校「会工セラミック化学科の取組～目指せ！セラミック化学のスペシャリスト～」

支部の広場

静岡県支部からお届け



表紙によせて

富士山 御来光 / 表紙上段

日本一の高さ(標高3,776メートル)を持つ活火山、富士山。2013年6月、「富士山ー信仰の対象と芸術の源泉ー」の名称のもと世界文化遺産に登録されました。

なお、新型コロナウイルスによる登山者および関係者の安全確保が困難なことから、2020年夏、全ての登山道が閉鎖となっているため、登山できません。

新居の手筒花火(湖西市) / 表紙下段

遠州新居の手筒花火は、遠く江戸貞享年間(1684~1688)には既に諏訪神社祭礼で行われていました。手筒花火の作成は竹切りから梨粉(黒色火薬)詰めまで全て地元の人たちの手で行われ、伝統の技術やお囃子などが受け継がれています。笛、太鼓、ほら貝が鳴り響くなか、一度に数十本の手筒花火が乱立する様は、他の地域では見ることでできない新居独特のものです。

写真提供: 静岡県観光協会

① 静岡県富士山世界遺産センター(富士宮市)

県産ヒノキを用いた木格子からなる逆さ富士の外観が特徴であり、富士山麓の湧き水を引いた前面の水盤に映ると「正富士」のように見えるよう設計されている。水盤には鳥居が建てられており、富士山本宮浅間大社との連携を図っている。展示棟では、1階から5階(最上階)を繋ぐらせんスロープを登りながら四季の富士登山を疑似体験できる展示となっており、最上階に着くと実際の富士山を一望できます。

② 南アルプスあぶとライン(川根本町)

大井川上流部・奥大井の渓谷をゆっくりと走る日本唯一のアプト式列車です。大井川鐵道井川線が正式名称で、大井川水系のダム建設のために作られた歴史を持ち、今は奥大井の観光列車として運行しています。90パーミルという日本一の急勾配や、日本一の高さの鉄道橋(関の沢橋梁)、接岨(せっそ)湖に浮かんだように見える奥大井湖上駅など、見どころがたくさん。

③ 桜えびの刺身(静岡市・焼津市)

桜えびの国内の水揚げは100%駿河湾産です。桜えび漁は、由比漁協と大井川漁協から120隻が夕方に出航し、日没後から漁が始まり、翌朝、水揚げされたばかりの新鮮な状態で出荷されます。獲れたてを生で味わえるのは地元だけ。漁獲量が限られるため、「幻の桜えび」になりつつあります。

④ 生しらす丼(富士市)

自慢はなにより抜群の鮮度です。しらす漁では二艘曳が多いのですが、ここ田子の浦漁協の漁法は、網を一艘の船で曳いています。これにより漁を短時間で行ない、瞬時に大量の氷でしめてから、すぐに港へ戻れるので、生食に適したしらすを水揚げすることができるのです。

002

top

新型コロナ流行期にはインクルーシブ防災を地域総働で

東京都立大学 名誉教授

明治大学 復興・危機管理研究所

中林 一樹

004

こだま

会津工業高等学校

「会工セラミック化学科の取組～目指せ!セラミック化学のスペシャリスト～」

006

業務情報

令和元年度事業報告及び決算

令和元年度の試験実施結果について

令和元年度の免状作成等の状況について

026

支部の広場

静岡県支部からお届け

028

topic

合格体験記

木村 朝輝

島根県立松江工業高等学校

情報技術科3年

030

消防庁の通知・通達等

032

業務報告

4・5月の試験実施結果・免状作成状況

7 Voice...

消防試験研究センターだより

2020 July vol.379



災害が連続して、被災者の被害が拡大する複合災害である。他は「同時対応型複合災害」で、同一の自治体で、複数の災害によって被災地区が別々に発生し、自治体としては複数の災害に同時対応を余儀なくされる複合災害である。

現在全国の自治体では平常業務に加え、新型コロナ対策を展開中で手一杯の状態である。その状況は、数年間は終息することなく継続すると考えられる。そこに自然災害が発生すれば、新型コロナ対策に災害対応対策が加わって「同時対応」を余儀なくされ、コロナ対応にも災害対応にも遅れや不適切な対応も発生し、被災地に大きな混乱を招くことになる。とくに発災直後の避難対策では、従来そのままでは避難所が三密状態となり、“感染拡大のクラスター”となって感染を加速する可能性が高い。さらに、全国がコロナ蔓延の渦中にあり、自治体間支援もボランティア支援も、従来のように迅速な対応が困難であろう。被災地では、感染者医療にも災害負傷者医療にも対応できない医療崩壊状態（パンデミック）となって、避難所避難者も在宅避難者も放置され、“災害関連死の増大”という未曾有の「同時被災・同時対応型複合災害」となる。

4 誰もが助かる「インクルーシブ防災」を「地域総働」で

2020年5月27日21:00現在、医療機関で療養した新型コロナ感染者累積数は16,774人に達した。一方、退院者が14,627人、死亡者870人、療養中の感染者が1,277人という状況である。いつまた第2波の蔓延が発生するか、予想はできないが、療養中の感染者が急速に減少してきている。しかし緊急事態宣言解除の3週間前である5月5日（厚労省資料）には、療養中の感染者は8,711人で、その療養先施設では、医療施設5,558人、自宅1,964人、受入れ施設862人、社会福祉施設147人、不明160人であった。この感染確認者以外の地域住民には、「未確認感染者」、「非感染者」、そして「(抗体を持っているはずの)既感染者」がいるが、その状況は全く分からない。この状況下で地震や水害が発生したら、どうすべきなのか。

そこにこそ、“みんなの力で、障害者も高齢者も誰も取り残さず、命を守るインクルーシブ防災⁴⁾(包括的地域防災)”を、地域のあらゆる人のパワーを持ち寄って

取り組む“地域総働”で実践していくしかない。その要点が次の3点である。

(1) 感染者が災害後も留まる療養施設の耐震化・耐水化の確保

災害医療の拠点でもあり、コロナ対応の拠点になっている病院や関連施設は、感染者が避難せずに留まり続けられる耐震性・耐水性を確保するとともに、機能維持に不可欠な非常電源の燃料確保は最優先で、いついかなる事態にも必要な給油を可能とするプッシュ型支援体制を行政と施設と給油事業者間で構築しておく。

(2) 未確認感染者を含む地域住民に三密防止の避難生活を確保

避難所の三密防止には、避難所の増加とそこへの避難者の減少を進める。避難所に行けない高齢者や障害者は「在宅避難」、「縁故避難」、「(社会福祉)施設避難」をしてきた。「避難生活の多様化」には、すべての「住宅」や「施設」の耐震化・耐水化を促進して在宅での“安全な避難生活を確保”するとともに、防災・福祉・消防の行政部門の連携によって、安全なマイ在宅避難計画・マイ施設避難計画の策定指導を進める。

(3) 避難生活支援の地域総働化

行政の指定避難所をコア⁵⁾として、在宅避難者、知人友人宅など縁故避難者、施設避難者にも、避難生活の必要な支援は、避難所と同等に、公平に提供しなければならない。そのためには、行政に地域の全ての力を結集する「地域総働」の発想が重要で、住民組織・企業・消防団を地域総働の中核として取り組もう。

(補注・文献)

- 1) 当初、社会距離 (Social Distance) として 2m 確保としたが、“近隣での人のつながり”をも否定する印象が強いということから、身体距離 (Physical Distance) と用語が変更された。
- 2) MERSは、2012年9月にアラビア半島で感染が始まり、2015年に韓国に持ち込まれさらに中国にも感染が広まって、2019年11月までに感染者確認数は2,494人、死者数858人で、その後も感染者の確認が続いている。
- 3) 中林一樹・小田切利栄 (2009) 「日本における複合災害および広域巨大災害への自治体対応の現状と課題」、地域安全学会論文集、No.11、pp.33-42。
- 4) 障害者も巻き込んだインクルーシブ防災の事例として、別府市の取り組みがある。
- 5) 東京都豊島区は、従来の指定避難所を「救援センター」と改め、避難所を含む地域の災害時救援を展開する地域センターとしての取り組みを進めている。



会津工業高等学校

会工セラミック化学科の取組

～目指せ!セラミック化学のスペシャリスト～

石井 洋子 (いしい ようこ)
会津工業高等学校
セラミック化学科

1. 本校の紹介

工業学校の源流となる徒弟学校規範により京都市立染織学校が明治27年10月に初めて誕生し、翌28年4月本校源流の本郷村立窯業徒弟学校が誕生しました。次いで町立瀬戸陶器学校と町立の有田徒弟学校が10月。鶴岡町立染織徒弟学校が12月と続き、明治14年設立の官立東京職工学校(東工大の源流)は例外として、公立では京都に次いで2番目に古い伝統を誇ります。そして、鶴ヶ城三日町口門の旧郭内に明治37年福島県立工業学校として、日本の伝統産業を支える技術者の育成を目的に染織科、漆工科、窯業科からスタートしました。昭和4年には文部省告示第372号により、校名を福島県立会津工業学校に改称。さらに昭和23年、新制高等学校発足に伴い現在の福島県立会津工業高等学校に校名を変更しました。その間、時代の要請に応え数度の学科改変が行われ現在の建築インテリア科、セラミック化学科、機械科、電気科、情報技術科の5学科6クラスで構成されています。今年で創立118年を迎え、県内でも歴史が長い学校として知られ、多くの産業人を輩出しています。

2. 本校の取組

本校は、校歌の歌詞に使われている「至誠勤労」とあるように、工業校長会主催の高校生ものづくりコンテストに各科とも力を入れ、修練された先生方の元、技術指導や知識を習得しブロック大会では常に名を連ね、全国大会においても準優勝するなど大きく存在感を発揮しています。資格取得においても、工業校長会主催の検定をはじめ国家試験にチャレンジするなど難易度の高い資格においても合格者を輩出しています。また、部活動も盛んで陸上部、水泳部、ボクシング部、スキー部はインターハイや国体に出場するなど活躍しています。以上のように、教職員が一丸となって文武両道をすべく熱心に指導しています。

3. セラミック化学科紹介

本校紹介にも触れたように、本学科のセラミック化学科は開校当初からある窯業科(昭和61年セラミック科に科名変更)と大正6年に創設された応用化学科(昭和16年工業化学科に科名変更さらに昭和38年化学工学科に科名変更)が学科統合され平成20年4月よりセラミック化学科が誕生しました。東日本でセラミック(窯業)について学べる唯一の学科というだけでなく全国においても6校ほかコース制をとっている学校は4校と珍しい学科です。

《セラミック系の取組》

セラミック系の授業はセラミック工業、セラミック技術、セラミック化学、実習(ろくろ成型、鑄込み成型、釉薬の調合、セラミックナイフの製作、アパタイトの試作と評価、色ガラスの試作と評価)を行っています。伝統的なオールドセラミックだけでなく機能性を持たせたニューセラミックについても幅広く学習しています。また、陶芸技能検定(希望者)、セラミック能力検定(3年生全員受験)、ろくろ技能検定(希望者)、陶磁器能力検定(1年生全員受験)の取得を目指しています。

《化学系の取組》

化学系の授業は工業化学(有機化学、無機化学)、化学工学(選択制)、実習(定性分析、定量分析、無機合成、有機合成、機器分析、プラント(石鹼工場))を行っています。化学系授業においても幅広くカバーし授業を行っています。また、危険物取扱者試験の取組としては、1年生で丙種(10月試験)、2年生で乙4類(6月試験)に取組んでいます。さしあたっての目標としては危険物取扱者試験乙4類の合格率向上を目指しています。

《その他の取組》

地域貢献として、春に行われる向羽黒山城跡(国指定史跡)で行われるふれあい茶会へ参加し生徒が作った陶芸作品の

展示や抹茶椀でのお点前披露を行っています。8月には地場産業でもある会津本郷で行われるせと市に参加しています。約一年間かけ生徒が製作してきた作品を販売しています。それ以外にも産業フェアへの出店、美展や県展に生徒作品を出品し各賞を受賞するなど積極的に参加しています。

また、高校生ものづくりコンテスト化学分析部門にも力を入れ指導しています。中には他の部活動を行いながら部活動と両立しながら全国大会へ出場し準優勝するなど、日々鍛錬を重ね実績を積んでいます。



セラミック系実習の様子(鑄込み成型) 化学系実習の様子(有機合成)

4. 危険物取扱者試験について

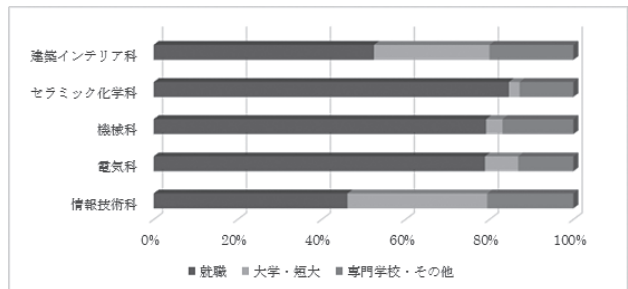
本校では、2年前まで本校を会場として年2回(6, 10月)実施していました。他に2月の試験は他地区会場を受験するという形式で進めてきました。本校を会場とし2月が行われない要因として、福島県の中でも雪が深く、実施するのが困難であるという判断からでした。普段から指導に係っている先生方は、より多く受験をする機会を与えてあげたいと強い希望もあり、関係各所と検討し特定試験会場として実施できるようになりました。その結果、2倍以上受験者が増えました。特に就職を希望しているものは積極的に受験しているようです。また、2年連続甲種取得者も出ており、他の在校生にとっても良い刺激になっているようです。

■表 過去2年間の受験者と合格者

種別	平成30年度		令和元年度	
	受験者	合格者	受験者	合格者
甲種	1	1	2	1
乙種1類	19	8	17	10
乙種2類	13	8	5	4
乙種3類	9	5	8	3
乙種4類	260	57	265	44
乙種5類	13	8	6	2
乙種6類	29	13	18	11
丙種	57	24	56	20

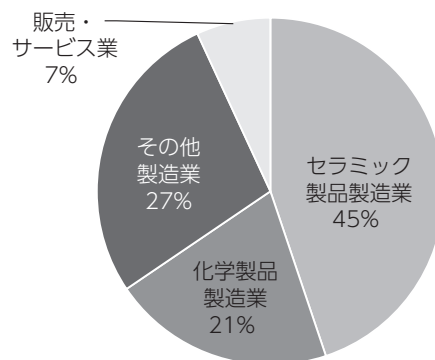
5. 卒業後の進路

令和元年度の学校全体としての進路状況は、就職者が約7割、進学者が約3割という結果で昨年度とほぼ同様の傾向でした。就職希望者、進学希望者ともにほとんどの生徒が早い時期に内定もしくは合格を頂くことができました。



令和元年度の進路先割合

セラミック化学科の令和元年度の職業先割合は下図のようになっています。ほとんどの卒業生が学科に関連した職業に行けることとなりました。その他の職業においても自分の良さを発揮できる分野での就職先を決定することができました。



6. 最後に

会津工業高等学校セラミック化学科では、伝統工芸を継承しつつ近代工業を支える人材の育成、自然豊かな環境で育む人間性の育成を中心に教育活動を行なっています。その中で危険物取扱者試験取得は担当科教員全員の悲願であり、今後さらに研究し指導を行なわなければならないと感じています。生徒たち自身も少しずつ意識を高め、より良いものを得ようとする努力が垣間見えるようになりました。時間はかかるかもしれませんが、根気強く質的な豊かさを伴った生徒の成長につながる指導をしていきたいと思えます。

事業報告書

第1 概況

1 手数料改定

令和元年10月1日の消費税及び地方消費税の税率引き上げに向け、令和元年5月24日に「地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部を改正する政令」が公布され、これに基づき各都道府県の手数料条例が改正され、危険物取扱者試験の試験手数料が同年10月1日から次のとおり改定された。

		改定前手数料	改定後手数料
危険物取扱者 試験手数料	甲種	6,500円	6,600円
	乙種	4,500円	4,600円
	丙種	3,600円	3,700円

※消防設備士試験手数料及び免状手数料の改定はなし

2 試験事業の状況

(1) 危険物取扱者試験

危険物取扱者試験の受験申請者数は363,386人で前年度（392,065人）から28,679人減少（△7.3%）し、平成22年度から連続の減少となった。

このうち、13,057人の減少は、令和2年3月に入り新型コロナウイルス感染症への対応により試験の延期（中止）及び風邪の症状の申出による試験日振替（以下「新型コロナウイルス感染症への対応等」という。）を行ったことによるものである。

残りの15,622人の減少は、少子化による高校生の減少やエネルギー需要等の社会情勢の変化に伴う危険物施設の減少などの従前からの要因に加え、平成30年5月の手数料引上げの影響が令和元年度前半まで残っていたことによるものと推測される。

(2) 消防設備士試験

消防設備士試験の受験申請者数は99,878人で前年度（103,817人）から3,939人減少（△3.8%）し、平成26年度から平成29年度まで続いた増加から減少に転じた平成30年度に引き続き減少となった。

このうち、2,325人の減少は、危険物取扱者試験と同じく新型コロナウイルス感染症への対応等を行ったことによるものである。

残りの1,614人の減少は、風水害による試験の延期などによるものと推測される。

(3) 予防技術検定

予防技術検定の受検申請者数は7,904人で前年度（9,261人）から1,357人減少（△14.7%）し、平成17年度の検定業務実施以来、初めての減少となった。

このうち、大部分を占める1,232人の減少は、新型コロナウイルス感染症への対応等を行ったことによるものである。

3 免状事業の状況

免状業務については、全ての都道府県と受託契約して、免状作成等の事務を行うとともに、新たに静岡県を加えた39都道県と受託契約し、写真書換え未了者に対する書換え促進通知業務を行った。

免状作成等の処理件数は、新規免状の作成、免状の書換え（写真書換えを含む）、再交付免状の作成を含めて、危険物取扱者は275,948件で、前年度（272,564件）から3,384件増加（+1.2%）し、消防設備士は41,437件で、前年度（41,278件）から159件増加（+0.4%）した。

危険物取扱者及び消防設備士とも、受験申請者数の減少に伴い、新規交付は減少したが、平成元年の写真書換え制度創設以来10年毎に写真書換え申請者が増となるため、全体として免状作成等の処理件数は増加した。

業務情報

information

令和元年度 事業報告及び 決算

4 受験者確保対策の推進

平成28年度から平成30年度の3か年で実施した「受験しやすい環境づくりモデル事業」の結果を踏まえ、令和元年度から「受験しやすい環境づくりモデル事業（第Ⅱ期）」を実施し、全ての支部で更なる受験者確保対策を推進することとしている。

令和元年度は、工業高校等教諭と支部の意見交換会を実施し、企業の採用担当者を招いて情報交換を行ったほか、自衛隊に対して特定試験の働きかけを行うなど、15支部で第Ⅱ期モデル事業を実施した。

また、危険物取扱者試験の受験者確保のための緊急対策として、各支部において、工業高校等へ受験者確保に向けた働きかけを強化するとともに、都道府県消防主管課や関係団体等に対する要請を行った。

第2 個別的事业

1 試験事業

(1) 危険物取扱者試験を全都道府県で、次のとおり実施した。

ア 試験実施回数 (単位：回)

	甲種	乙種							丙種	合計
		第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小計		
当年度	329	404	410	419	816	418	427	2,894	434	3,657
前年度比	+13	+11	+15	+6	+29	+7	+16	+84	+16	+113

イ 受験申請者数・合格者数等

	受験申請者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率
当年度	363,386	329,479	148,475	45.1%
前年度比	△ 28,679	△ 25,882	△ 11,720	±0ポイント

(2) 消防設備士試験を全都道府県で、次のとおり実施した。

ア 試験実施回数

① 甲種 (単位：回)

	特類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	合計
当年度	106	124	115	118	137	115	715
前年度比	+1	+2	+2	+2	+3	+2	+12

② 乙種 (単位：回)

	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類	合計
当年度	116	108	105	133	112	149	124	847
前年度比	+2	+9	+5	+6	+3	+8	+6	+39

イ 受験申請者数・合格者数等

	受験申請者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率
当年度	99,878	77,717	27,509	35.4%
前年度比	△ 3,939	△ 3,164	△ 1,597	△ 0.6ポイント

- (3) 予防技術検定を令和2年3月15日に46都府県で、次のとおり実施した。
北海道会場については、新型コロナウイルス感染症への対応のため中止とした。

		受験申請者数(人)	受検者数(人)	合格者数(人)	合格率
防火査察	当年度	4,181	3,930	2,290	58.3%
	前年度比	△ 892	△ 866	△ 229	+5.8ポイント
消防用設備等	当年度	2,080	1,909	859	45.0%
	前年度比	△ 318	△ 347	△ 145	+0.5ポイント
危険物	当年度	1,643	1,543	955	61.9%
	前年度比	△ 147	△ 157	+181	+16.4ポイント
合計	当年度	7,904	7,382	4,104	55.6%
	前年度比	△ 1,357	△ 1,370	△ 193	+6.5ポイント

- (4) 電子申請者数は、次のとおりであった。

		電子申請者数(人)	受験申請者数(人)	電子申請率
危険物取扱者	当年度	118,229	363,386	32.5%
	前年度比	△ 218	△ 28,679	+2.3ポイント
消防設備士	当年度	35,135	99,878	35.2%
	前年度比	△ 287	△ 3,939	+1.1ポイント
合計	当年度	153,364	463,264	33.1%
	前年度比	△ 505	△ 32,618	+2.1ポイント

- (5) 過去に出題した試験問題の公開について、令和元年5月22日に「試験問題の公開に係る検討委員会」において審議し、令和元年6月20日に、ホームページ上で公開している過去の出題問題の追加・更新を行った。

この結果、令和元年度末現在、危険物取扱者試験については165問、消防設備士試験については86問をホームページ上で公開している。

2 免状事業

- (1) 全都道府県の委託を受け、新規、書換え（写真書換えを含む）及び再交付免状の作成を行うとともに、免状データベースに登録した。

ア 免状作成等の処理件数

(単位：件)

		新規交付	書換え		再交付	合計
			写真	写真以外		
危険物取扱者	当年度	147,187	115,922	1,777	11,062	275,948
	前年度比	△ 7,874	+10,927	+113	+218	+3,384
消防設備士	当年度	27,234	13,059	223	921	41,437
	前年度比	△ 1,034	+1,202	+11	△ 20	+159
合計	当年度	174,421	128,981	2,000	11,983	317,385
	前年度比	△ 8,908	+12,129	+124	+198	+3,543

※ 書換え（「写真」以外）については、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数

- イ 免状データベースの登録件数の累計は、次のとおりとなった。

登録件数の累計(件)	
危険物取扱者	7,956,584
消防設備士	1,035,636
合計	8,992,220

- (2) 39都道府県と受託契約し、写真書換え未了者に対する書換え促進通知業務を行い、108,541人に通知（危険物取扱者 100,068人、消防設備士 8,473人）し、24,937人（23.0%）が写真書換えを申請した。

（受託都道府県）

北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、静岡県、滋賀県、奈良県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

- (3) 全都道府県との覚書により、免状データベースへの講習履歴の収録を次のとおり行った。

	講習履歴の収録件数(件)
危険物取扱者	208,888
消防設備士	67,387
合計	276,275

3 企画研究事業

- (1) 次期業務情報システムについて、受験者の利便性の向上、業務の効率化並びに運用経費の削減を図るため、システムの設計・開発を行った。

また、次期業務情報システムの設計・開発に併行して、現行業務情報システムの円滑な稼働・運営を行った。

- (2) 受験しやすい環境づくりモデル事業（第Ⅱ期）を、15支部において実施した。

モデル事業内容	実施支部
工業高校	青森県、神奈川県、静岡県、三重県、大阪府、奈良県、和歌山県、島根県、岡山県、福岡県、佐賀県、熊本県、大分県
自衛隊	京都府、鳥取県

- (3) 令和元年度から、危険物取扱者及び消防設備士の資格取得に積極的に取り組まれている学校や熱意をもって指導されている教諭に対し、その功績をたたえるため、感謝状を贈呈することとした。

令和元年度は、32の高等学校と3人の教諭に対し感謝状を贈呈した。

- (4) 広報活動を次のとおり実施した。

ア 資格制度等に関する広報

試験・検定の案内パンフレットの他、広報ターゲットを明確にした大学生及び高校生向け受験促進パンフレット、資格試験広報ポスター、写真書換え啓発ポスターを作成して、関係機関等に配布し資格制度等の周知を図った。

（作成数量）

① 試験・検定の案内パンフレット	38,100部
② 資格試験広報ポスター	15,920枚
③ 大学生向け危険物取扱者試験受験促進パンフレット（甲種）	12,200部
④ 高校生向け危険物取扱者試験受験促進パンフレット	55,700部
⑤ 写真書換え啓発ポスター	12,130枚

（配布先）

高校、高専、大学、専門学校、事業所、都道府県、消防機関等

イ 広報誌「消防試験研究センターだよりVoice.」を発行し、関係機関に配布した。

（作成数量） 隔月 3,100部

（配布先） 高校、高専、大学、専門学校、都道府県、消防機関等

ウ ホームページの活用

電子申請の案内や全国の試験実施日程等をお知らせするとともに、台風や豪雨災害、新

新型コロナウイルスの感染症への対応による試験の延期等の緊急情報を迅速に提供した。
エ 消防関係の専門誌等を活用して広報活動を行った。

- (5) 「平成30年度版危険物取扱者試験・消防設備士試験・免状統計表」を作成し配布した。
(作成数量) 320部
(配布先) 消防庁、都道府県
- (6) 役職員による個人情報の厳格な管理、利用の安全性の確保について徹底するとともに、受験者情報を扱うデータエントリー委託業者に対する厳正な管理・監督の徹底を図った。

4 その他事業

- (1) 支部監査を9支部において実施するとともに、それ以外の37支部に対して自己点検方式による補完監査を実施した。また、公認会計士による外部監査を2支部において実施した。
- (支部監査(実地監査)実施支部)
埼玉県、神奈川県、山梨県、長野県、徳島県、香川県、熊本県、宮崎県、鹿児島県
- (支部監査(補完監査)実施支部)
実地監査該当支部以外、37支部
- (外部監査実施支部)
秋田県、福岡県
- (2) 試験業務及び免状業務の円滑な執行を図るため、全国支部長会議を1回、ブロック幹事支部長会議を1回それぞれ東京で開催するとともに、都道府県消防主管課の出席を得て、全国6か所でブロック支部長会議を開催し、危険物取扱者試験の受験者確保のための緊急対策や業務情報システムの更新スケジュール等についての説明や意見交換等を行った。

(ブロック支部長会議開催地)

ブロック名	開催地	開催日
北海道・東北	福島県	令和元年9月18日
関東・甲信越	千葉県	令和元年10月3日
中部	岐阜県	令和元年10月30日
近畿	奈良県	令和元年10月10日
中国・四国	愛媛県	令和元年10月8日
九州	長崎県	令和元年10月17日

- (3) 消防防災推進事業助成を79事業に対して行った。
- (4) 関係官庁、関係機関及び諸団体との連絡調整を行った。

第3 評議員会及び理事会の開催に関する事項

1 評議員会

- (1) 第14回評議員会（令和元年6月26日(水)開催）

理事の選任

上関克也 氏

田口尚文 氏

田中経康 氏

長澤良治 氏

村上研一 氏

監事の選任

吉田 哲 氏

平成30年度事業報告の報告及び平成30年度決算の承認

平成30年度公益目的支出計画実施報告書の報告

- (2) 第15回評議員会（令和元年7月5日(金)開催）

評議員の選任

安田正信 氏

吉田敏治 氏

2 理事会

- (1) 第26回理事会（令和元年6月7日(金)開催）

理事長（代表理事）及び常務理事（業務執行理事）の職務執行状況報告

平成30年度事業報告の承認及び平成30年度決算の決定

平成30年度公益目的支出計画実施報告書の承認

評議員会招集の決定

- (2) 第27回理事会（令和元年6月27日(木)開催）

理事長の選定

田口尚文 氏

常務理事の選定

村上研一 氏

評議員会招集の決定

- (3) 第28回理事会（令和2年3月16日(月)開催）

理事長（代表理事）及び常務理事（業務執行理事）の職務執行状況報告

令和2年度事業計画及び令和2年度収支予算の承認

附属明細書

令和元年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和元年度決算書

貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	673,906,235	575,552,949	98,353,286
未収金	79,998,254	73,726,730	6,271,524
前払金	18,990,661	18,366,660	624,001
貯蔵品	13,405,175	9,555,197	3,849,978
流動資産合計	786,300,325	677,201,536	109,098,789
2 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	608,014,042	608,014,042	0
定期預金	200,000,000	200,000,000	0
投資有価証券	1,721,985,958	1,721,985,958	0
基本財産合計	2,530,000,000	2,530,000,000	0
(2) 特定資産			
役員退職慰労引当資産	13,513,400	14,383,800	△ 870,400
退職給付引当資産	344,984,002	352,158,195	△ 7,174,193
減価償却引当資産	635,028,624	612,537,719	22,490,905
特定資産合計	993,526,026	979,079,714	14,446,312
(3) その他固定資産			
建物附属設備	3,352,360	4,159,325	△ 806,965
什器備品	2,593,041	47,822,623	△ 45,229,582
ソフトウェア	41,002,971	56,402,129	△ 15,399,158
ソフトウェア仮勘定	25,228,500	0	25,228,500
電話加入権	162,000	162,000	0
敷金	20,907,750	20,360,208	547,542
保証金	30,000	30,000	0
その他固定資産合計	93,276,622	128,936,285	△ 35,659,663
固定資産合計	3,616,802,648	3,638,015,999	△ 21,213,351
資産合計	4,403,102,973	4,315,217,535	87,885,438
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	65,442,191	34,019,813	31,422,378
前受金	118,557,130	39,357,275	79,199,855
預り金	18,220,013	20,837,947	△ 2,617,934
特別手当引当金	60,161,233	59,367,763	793,470
流動負債合計	262,380,567	153,582,798	108,797,769
2 固定負債			
役員退職慰労引当金	13,513,400	14,383,800	△ 870,400
退職給付引当金	344,984,002	352,158,195	△ 7,174,193
固定負債合計	358,497,402	366,541,995	△ 8,044,593
負債合計	620,877,969	520,124,793	100,753,176
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	128,500,000	128,500,000	0
指定正味財産合計	128,500,000	128,500,000	0
(うち基本財産への充当額)	(128,500,000)	(128,500,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	3,653,725,004	3,666,592,742	△ 12,867,738
(うち基本財産への充当額)	(2,401,500,000)	(2,401,500,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(635,028,624)	(612,537,719)	(22,490,905)
正味財産合計	3,782,225,004	3,795,092,742	△ 12,867,738
負債及び正味財産合計	4,403,102,973	4,315,217,535	87,885,438

正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	15,319,271	16,451,892	△ 1,132,621
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	8,909	8,596	313
③ 受取試験手数料	2,186,608,800	2,229,010,100	△ 42,401,300
危険物取扱者試験手数料	1,667,070,900	1,685,008,600	△ 17,937,700
消防設備士試験手数料	474,485,100	491,213,800	△ 16,728,700
予防技術検定手数料	45,052,800	52,787,700	△ 7,734,900
④ 受取免状受託料	534,192,302	527,735,995	6,456,307
危険物取扱者免状受託料	452,073,553	447,252,110	4,821,443
消防設備士免状受託料	71,547,196	70,373,019	1,174,177
写真書換促進業務受託料	10,571,553	10,110,866	460,687
⑤ 雑収益	1,714,248	1,368,151	346,097
受取利息	7,345	6,700	645
証紙等手数料	322,364	322,483	△ 119
免状交付等手数料徴収事務受託料	898,243	879,120	19,123
雑収益	486,296	159,848	326,448
経常収益計	2,737,843,530	2,774,574,734	△ 36,731,204
(2) 経常費用			
① 事業費	2,662,648,619	2,708,160,269	△ 45,511,650
役員報酬	22,485,980	22,184,732	301,248
給料手当	933,769,876	960,725,318	△ 26,955,442
法定福利費	147,429,541	149,670,318	△ 2,240,777
福利厚生費	18,478,834	19,525,487	△ 1,046,653
役員退職慰労引当金繰入額	3,042,960	2,894,640	148,320
退職給付費用	38,037,995	37,158,530	879,465
特別手当引当金繰入額	55,554,402	54,968,484	585,918
試験監督員賃金	228,860,784	227,917,917	942,867
臨時雇賃金	41,509,134	49,506,345	△ 7,997,211
諸謝金	8,286,614	8,153,019	133,595
事務所等賃借料	173,776,746	172,105,240	1,671,506
試験会場賃借料	92,258,682	92,057,688	200,994
事業負担金	13,800,000	14,673,890	△ 873,890
リース料	30,210,480	27,603,442	2,607,038
光熱水料費	13,097,446	13,523,518	△ 426,072
通信運搬費	177,871,608	171,334,492	6,537,116
印刷製本費	130,177,711	126,974,299	3,203,412
委託費	179,520,278	201,168,031	△ 21,647,753
保守管理費	8,180,850	8,488,072	△ 307,222
旅費交通費	24,152,886	30,426,673	△ 6,273,787
電子申請試験手数料収納費	31,920,556	30,592,949	1,327,607
消耗什器備品費	258,720	0	258,720
消耗品費	53,857,381	51,441,254	2,416,127
会議費	5,899,468	14,914,689	△ 9,015,221
広告費	14,688,685	16,595,326	△ 1,906,641
消防防災等推進事業助成金	31,767,252	38,544,063	△ 6,776,811
諸会費	642,213	437,549	204,664
災害保険料	1,004,206	979,612	24,594
租税公課	31,489,847	27,707,728	3,782,119
減価償却費	139,325,305	123,796,292	15,529,013
雑費	11,292,179	12,090,672	△ 798,493

科 目	当年度	前年度	増 減
② 管理費	88,062,649	87,802,239	260,410
役員報酬	21,332,890	21,552,713	△ 219,823
給料手当	29,161,840	27,166,744	1,995,096
法定福利費	6,086,782	5,781,638	305,144
福利厚生費	1,181,020	1,242,905	△ 61,885
役員退職慰労引当金繰入額	2,781,040	2,764,560	16,480
退職給付費用	582,112	612,244	△ 30,132
特別手当引当金繰入額	4,606,831	4,399,279	207,552
臨時雇賃金	0	1,939,528	△ 1,939,528
諸謝金	1,433,447	1,299,912	133,535
事務所等賃借料	13,005,527	12,886,212	119,315
リース料	520,156	298,167	221,989
光熱水料費	682,848	722,926	△ 40,078
通信運搬費	624,757	640,735	△ 15,978
印刷製本費	373,217	427,335	△ 54,118
委託費	1,057,841	1,231,910	△ 174,069
保守管理費	601,109	721,449	△ 120,340
旅費交通費	455,899	400,223	55,676
消耗品費	343,076	389,813	△ 46,737
会議費	278,324	286,952	△ 8,628
広告費	17,208	16,776	432
諸会費	73,977	51,839	22,138
災害保険料	153,194	148,838	4,356
租税公課	2,515,286	2,651,365	△ 136,079
雑費	194,268	168,176	26,092
経常費用計	2,750,711,268	2,795,962,508	△ 45,251,240
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 12,867,738	△ 21,387,774	8,520,036
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 12,867,738	△ 21,387,774	8,520,036
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
什器備品除却損	0	1	△ 1
電話加入権解約損	0	4,500	△ 4,500
経常外費用計	0	4,501	△ 4,501
当期経常外増減額	0	△ 4,501	4,501
当期一般正味財産増減額	△ 12,867,738	△ 21,392,275	8,524,537
一般正味財産期首残高	3,666,592,742	3,687,985,017	△ 21,392,275
一般正味財産期末残高	3,653,725,004	3,666,592,742	△ 12,867,738
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	128,500,000	128,500,000	0
指定正味財産期末残高	128,500,000	128,500,000	0
III 正味財産期末残高	3,782,225,004	3,795,092,742	△ 12,867,738

令和元年度の試験実施結果について—業務部—

当センターが令和元年度に実施した、危険物取扱者試験、消防設備士試験及び予防技術検定の試験実施結果は次のとおりです。

1 危険物取扱者試験及び消防設備士試験の実施結果の概要

危険物取扱者試験及び消防設備士試験の全国における試験実施回数及び受験申請者等の状況は(表1)のとおりです。危険物取扱者試験の受験申請者数は、ここ数年減少傾向を示しています。特に令和元年度は、新型コロナウイルス感染症による試験の延期等で両試験共に減少幅が拡大しました。

■ 表1 危険物取扱者試験及び消防設備士試験の実施結果 (単位：回，人)

年度	区分	危険物取扱者試験	消防設備士試験	合計
平成29年度	試験実施回数	3,404	1,508	4,912
	申請者数	422,740	108,920	531,660
	受験者数	381,043	84,990	466,033
	合格者数	160,378	29,733	190,111
平成30年度	試験実施回数	3,544	1,511	5,055
	申請者数	392,065	103,817	495,882
	受験者数	355,361	80,881	436,242
	合格者数	160,195	29,106	189,301
令和元年度	試験実施回数	3,657	1,562	5,219
	申請者数	363,386	99,878	463,264
	受験者数	329,479	77,717	407,196
	合格者数	148,475	27,509	175,984
対前年度	試験実施回数	+113	+51	+164
	申請者数	-28,679	-3,939	-32,618
	受験者数	-25,882	-3,164	-29,046
	合格者数	-11,720	-1,597	-13,317

2 危険物取扱者試験の実施状況

(1) 試験実施回数の状況(表2)

試験実施回数は、3,657回で、前年度の3,544回に比べ113回増加しました。

■ 表2 危険物取扱者試験の実施回数 (単位：回)

年度	甲種	乙種							丙種	合計
		第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小計		
平成29年度	305	385	376	390	763	383	395	2,692	407	3,404
平成30年度	316	393	395	413	787	411	411	2,810	418	3,544
令和元年度	329	404	410	419	816	418	427	2,894	434	3,657
対前年度	+13	+11	+15	+6	+29	+7	+16	+84	+16	+113

(2) 種類別受験申請者の状況 (表3)

全受験申請者数は363,386人と、前年度に比べ28,679人の減少となり、全ての種類の申請者に減少傾向が見られます。

乙種第4類は、ガソリン、灯油、重油等の最も一般的な危険物の取扱い等に必要な資格であることから、種類別受験申請者数ではその数が248,667人(全体の68.4%)と最も多くなっています。この傾向は例年どおりです。

■ 表3 危険物取扱者試験の種類別受験申請者の状況 (単位：人，%)

年度	区分	甲種	乙種							丙種	合計
			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小計		
平成29年度	申請者	26,287	13,568	12,566	14,570	289,795	14,751	16,077	361,327	35,126	422,740
	構成割合	6.2	3.2	3.0	3.4	68.6	3.5	3.8	85.5	8.3	100
平成30年度	申請者	24,381	12,777	12,004	13,541	269,358	13,827	14,292	335,799	31,885	392,065
	構成割合	6.2	3.3	3.1	3.5	68.7	3.5	3.6	85.7	8.1	100
令和元年度	申請者	22,765	11,912	11,504	13,084	248,667	13,375	13,005	311,547	29,074	363,386
	構成割合	6.3	3.3	3.2	3.6	68.4	3.7	3.6	85.7	8.0	100
対前年度	申請者	-1,616	-865	-500	-457	-20,691	-452	-1,287	-24,252	-2,811	-28,679

(3) 種類別合格率の状況 (表4)

全体の合格率は45.1%であり、前年度と比較すると、増減はありませんでした。

種類ごとの合格率を見ると、甲種が39.5%、乙種第4類が38.6%と、例年同様他の種類と比較して低い値となっています。

■ 表4 危険物取扱者試験の種類別合格率 (単位：人，%)

年度	区分	甲種	乙種							丙種	合計
			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小計		
平成29年度	受験者	22,504	13,047	12,074	13,992	256,587	14,186	15,525	325,411	33,128	381,043
	合格者	8,388	8,923	8,561	9,677	88,328	9,850	9,871	135,210	16,780	160,378
	合格率	37.3	68.4	70.9	69.2	34.4	69.4	63.6	41.6	50.7	42.1
平成30年度	受験者	20,977	12,333	11,620	13,045	240,102	13,362	13,894	304,356	30,028	355,361
	合格者	8,358	8,256	7,936	8,834	93,667	8,829	8,949	136,471	15,366	160,195
	合格率	39.8	66.9	68.3	67.7	39.0	66.1	64.4	44.8	51.2	45.1
令和元年度	受験者	19,540	11,465	11,114	12,535	221,867	12,862	12,573	282,416	27,523	329,479
	合格者	7,721	7,786	7,618	8,545	85,669	8,836	8,421	126,875	13,879	148,475
	合格率	39.5	67.9	68.5	68.2	38.6	68.7	67.0	44.9	50.4	45.1

(4) 職業別受験状況 (表5-1、表5-2)

受験申請者の職業別構成(表5-1)を見ると、高校生が最も多く全体の30.4%を占めるなど、その割合は前年度とほぼ同様の傾向が見られますが、高校生の受験申請者数は11,018人の減少、その割合は0.6ポイントの減少でした(前年度は121,599人31.0%)。また、高校生の甲種受験申請者は920人(前年度985人)でした。

平成20年度、25年度と比較(表5-2)すると高校生の受験申請者が、その人数、割合ともに大きく減少していることや、ガソリンスタンド従業員の受験申請者数が減少傾向にあることがわかります。

■表5-1 危険物取扱者試験の職業別受験状況

(単位：人，%)

職業等	区分	甲種	乙種						丙種	合計	申請者の構成割合	
			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類				小計
高校生	申請者	920	5,319	4,272	4,523	63,851	4,538	6,104	88,607	21,054	110,581	30.4
	受験者	899	5,254	4,224	4,463	61,889	4,478	6,041	86,349	20,324	107,572	
	合格者	196	3,136	2,593	2,626	15,420	2,688	3,331	29,794	9,119	39,109	
	合格率	21.8	59.7	61.4	58.8	24.9	60.0	55.1	34.5	44.9	36.4	
高校以外の学生、教育・研究機関	申請者	3,688	378	312	569	15,758	474	400	17,891	916	22,495	6.2
	受験者	3,341	366	300	544	14,020	461	385	16,076	868	20,285	
	合格者	1,517	260	230	397	6,765	340	313	8,305	568	10,390	
	合格率	45.4	71.0	76.7	73.0	48.3	73.8	81.3	51.7	65.4	51.2	
ガソリンスタンド	申請者	79	58	45	68	17,935	59	44	18,209	916	19,204	5.3
	受験者	72	53	43	65	15,532	56	41	15,790	839	16,701	
	合格者	15	37	26	43	4,531	41	30	4,708	430	5,153	
	合格率	20.8	69.8	60.5	66.2	29.2	73.2	73.2	29.8	51.3	30.9	
化学工業	申請者	7,103	849	1,112	997	12,603	1,613	770	17,944	23	25,070	6.9
	受験者	6,209	803	1,064	941	11,126	1,521	738	16,193	20	22,422	
	合格者	2,705	557	731	682	4,326	1,008	542	7,846	18	10,569	
	合格率	43.6	69.4	68.7	72.5	38.9	66.3	73.4	48.5	90.0	47.1	
危険物の卸売業、小売業	申請者	157	141	159	128	7,158	112	119	7,817	501	8,475	2.3
	受験者	131	136	149	122	6,052	103	112	6,674	422	7,227	
	合格者	50	98	103	85	2,574	81	94	3,035	295	3,380	
	合格率	38.2	72.1	69.1	69.7	42.5	78.6	83.9	45.5	69.9	46.8	
危険物の運送業	申請者	115	167	214	235	4,021	196	247	5,080	635	5,830	1.6
	受験者	83	164	205	219	3,253	184	227	4,252	513	4,848	
	合格者	28	121	151	138	1,117	124	162	1,813	313	2,154	
	合格率	33.7	73.8	73.7	63.0	34.3	67.4	71.4	42.6	61.0	44.4	
危険物を扱うその他の事業	申請者	4,569	1,582	2,218	1,880	55,305	2,064	1,668	64,717	1,459	70,745	19.5
	受験者	3,852	1,489	2,125	1,785	48,481	1,973	1,575	57,428	1,318	62,598	
	合格者	1,476	1,051	1,489	1,249	19,855	1,411	1,169	26,224	878	28,578	
	合格率	38.3	70.6	70.1	70.0	41.0	71.5	74.2	45.7	66.6	45.7	
公務員	申請者	1,038	807	729	1,148	11,312	977	843	15,816	326	17,180	4.7
	受験者	862	759	689	1,086	10,348	924	803	14,609	306	15,777	
	合格者	311	618	558	832	6,576	733	683	10,000	275	10,586	
	合格率	36.1	81.4	81.0	76.6	63.5	79.3	85.1	68.5	89.9	67.1	
その他	申請者	4,670	2,475	2,255	3,340	56,010	3,113	2,579	69,772	2,882	77,324	21.3
	受験者	3,713	2,311	2,135	3,123	46,968	2,943	2,426	59,906	2,582	66,201	
	合格者	1,299	1,828	1,629	2,368	23,346	2,267	1,944	33,382	1,813	36,494	
	合格率	35.0	79.1	76.3	75.8	49.7	77.0	80.1	55.7	70.2	55.1	
未入力	申請者	426	136	188	196	4,714	229	231	5,694	362	6,482	1.8
	受験者	378	130	180	187	4,198	219	225	5,139	331	5,848	
	合格者	124	80	108	125	1,159	143	153	1,768	170	2,062	
	合格率	32.8	61.5	60.0	66.8	27.6	65.3	68.0	34.4	51.4	35.3	
合計	申請者	22,765	11,912	11,504	13,084	248,667	13,375	13,005	311,547	29,074	363,386	100
	受験者	19,540	11,465	11,114	12,535	221,867	12,862	12,573	282,416	27,523	329,479	
	合格者	7,721	7,786	7,618	8,545	85,669	8,836	8,421	126,875	13,879	148,475	
	合格率	39.5	67.9	68.5	68.2	38.6	68.7	67.0	44.9	50.4	45.1	

■表5-2 危険物取扱者試験の職業別受験申請者数の推移

(単位：人，%)

年度	区分	高校生	高校生以外	ガソリンスタンド	化学工業	危険物卸・小売業	危険物の運送業	危険物を扱うその他の事業	公務員	その他	未入力	合計
平成21年度	申請者数	203,520	36,560	33,992	27,534	9,144	6,458	82,345	20,093	96,043	9,033	524,722
	構成割合	38.8	7.0	6.5	5.2	1.7	1.2	15.7	3.8	18.3	1.7	100
平成26年度	申請者数	165,207	30,091	27,259	25,339	9,618	6,090	73,853	20,895	86,953	9,907	455,212
	構成割合	36.3	6.6	6.0	5.6	2.1	1.3	16.2	4.6	19.1	2.2	100
令和元年度	申請者数	110,581	22,495	19,204	25,070	8,475	5,830	70,745	17,180	77,324	6,482	363,386
	構成割合	30.4	6.2	5.3	6.9	2.3	1.6	19.5	4.7	21.3	1.8	100

(5) 年代別受験状況 (表6)

高校生の受験申請者が多数を占めることから、20歳代未満の受験申請者が36.0%と高い値となっています。年齢別構成割合は、前年度とほぼ同様の傾向を示しています。今後、少子高齢化の影響により、その割合が変化していくことが予想されます。

合格率を年代別に見ると、全体的には60歳代までは年代が上がるにつれ高くなる傾向が見られます。

■ 表6 危険物取扱者試験の年代別受験状況 (単位：人，%)

年代	区分	甲種	乙種							丙種	合計	申請者の構成割合
			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小計			
20代未満	申請者	1,250	5,596	4,633	4,894	81,088	4,932	6,447	107,590	22,156	130,996	36.1
	受験者	1,208	5,521	4,574	4,824	77,584	4,855	6,379	103,737	21,363	126,308	
	合格者	285	3,302	2,823	2,865	21,083	2,924	3,566	36,563	9,727	46,575	
	合格率	23.6	59.8	61.7	59.4	27.2	60.2	55.9	35.2	45.5	36.9	
20代	申請者	11,178	1,588	1,789	2,158	64,030	2,261	1,737	73,563	1,777	86,518	23.8
	受験者	9,962	1,496	1,701	2,026	55,688	2,142	1,623	64,676	1,582	76,220	
	合格者	4,815	1,094	1,218	1,466	24,634	1,526	1,220	31,158	954	36,927	
	合格率	48.3	73.1	71.6	72.4	44.2	71.2	75.2	48.2	60.3	48.4	
30代	申請者	4,849	1,709	1,939	2,246	43,147	2,367	1,797	53,205	1,619	59,673	16.4
	受験者	3,871	1,625	1,842	2,109	36,974	2,239	1,703	46,492	1,463	51,826	
	合格者	1,345	1,208	1,330	1,579	16,207	1,671	1,334	23,329	980	25,654	
	合格率	34.7	74.3	72.2	74.9	43.8	74.6	78.3	50.2	67.0	49.5	
40代	申請者	3,459	1,841	1,979	2,293	36,527	2,359	1,820	46,819	1,824	52,102	14.3
	受験者	2,820	1,720	1,882	2,172	31,152	2,245	1,720	40,891	1,591	45,302	
	合格者	827	1,319	1,406	1,616	13,475	1,672	1,375	20,863	1,113	22,803	
	合格率	29.3	76.7	74.7	74.4	43.3	74.5	79.9	51.0	70.0	50.3	
50代	申請者	1,626	956	958	1,222	18,533	1,181	982	23,832	1,166	26,624	7.3
	受験者	1,335	892	917	1,144	15,836	1,115	936	20,840	1,026	23,201	
	合格者	358	693	692	821	7,604	827	753	11,390	746	12,494	
	合格率	26.8	77.7	75.5	71.8	48.0	74.2	80.4	54.7	72.7	53.9	
60代	申請者	353	202	193	251	4,819	244	209	5,918	474	6,745	1.9
	受験者	299	191	185	240	4,191	235	200	5,242	445	5,986	
	合格者	81	153	140	184	2,472	192	163	3,304	323	3,708	
	合格率	27.1	80.1	75.7	76.7	59.0	81.7	81.5	63.0	72.6	61.9	
70代以上	申請者	50	20	13	20	523	31	13	620	58	728	0.2
	受験者	45	20	13	20	442	31	12	538	53	636	
	合格者	10	17	9	14	194	24	10	268	36	314	
	合格率	22.2	85.0	69.2	70.0	43.9	77.4	83.3	49.8	67.9	49.4	
合計	申請者	22,765	11,912	11,504	13,084	248,667	13,375	13,005	311,547	29,074	363,386	100
	受験者	19,540	11,465	11,114	12,535	221,867	12,862	12,573	282,416	27,523	329,479	
	合格者	7,721	7,786	7,618	8,545	85,669	8,836	8,421	126,875	13,879	148,475	
	合格率	39.5	67.9	68.5	68.2	38.6	68.7	67.0	44.9	50.4	45.1	

3 消防設備士試験の実施状況

(1) 試験実施回数数の状況 (表7)

試験実施回数は、1,562回で前年度の1,511回に比べ51回増加しました。

■ 表7 消防設備士試験の種類別試験実施回数 (単位：回)

年度	甲種							乙種							合計	
	特類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類		小計
平成29年度	100	122	111	113	129	111	686	115	104	101	130	106	142	124	822	1,508
平成30年度	105	122	113	116	134	113	703	114	99	100	127	109	141	118	808	1,511
令和元年度	106	124	115	118	137	115	715	116	108	105	133	112	149	124	847	1,562
対前年度	+1	+2	+2	+2	+3	+2	+12	+2	+9	+5	+6	+3	+8	+6	+39	+51

(2) 種類別受験申請者数の状況 (表8)

全受験申請者は99,878人であり、前年度の103,817人に比べ3,939人の減少となりました。

■ 表8 消防設備士試験の種類別受験申請者の状況 (単位：人，%)

年度	区分	甲 種							乙 種							合計	
		特 類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小 計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類		小 計
平成29年度	申請者	1,508	15,774	4,137	4,358	25,265	4,190	55,232	3,155	885	1,002	13,414	1,179	27,182	6,871	53,688	108,920
	構成割合	1.4	14.5	3.8	4.0	23.2	3.8	50.7	2.9	0.8	0.9	12.3	1.1	25.0	6.3	49.3	100
平成30年度	申請者	1,364	14,831	3,960	4,181	24,604	4,028	52,968	2,773	718	866	12,489	1,131	26,616	6,256	50,849	103,817
	構成割合	1.3	14.3	3.8	4.0	23.7	3.9	51.0	2.7	0.7	0.8	12.0	1.1	25.6	6.0	49.0	100
令和元年度	申請者	1,299	13,899	3,835	3,902	23,080	3,958	49,973	2,748	769	934	11,421	1,176	26,839	6,018	49,905	99,878
	構成割合	1.3	13.9	3.8	3.9	23.1	4.0	50.0	2.8	0.8	0.9	11.4	1.2	26.9	6.0	50.0	100
対前年度		-65	-932	-125	-279	-1,524	-70	-2,995	-25	+51	+68	-1,068	+45	+223	-238	-944	-3,939

(3) 種類別合格率の状況 (表9)

全体の合格率は35.4%であり、前年度と比較すると、0.6ポイントの低下でした。

■ 表9 消防設備士試験の種類別合格率 (単位：人，%)

年度	区分	甲 種							乙 種							合計	
		特 類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小 計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類		小 計
平成29年度	受験者	1,228	11,360	3,156	3,385	19,033	3,280	41,442	2,531	732	860	10,405	935	21,623	5,891	42,977	84,419
	合格者	303	3,222	1,224	1,160	5,845	1,239	12,993	780	268	257	3,367	397	8,188	3,483	16,740	29,733
	合格率	24.7	28.4	38.8	34.3	30.7	37.8	31.4	30.8	36.6	29.9	32.4	42.5	37.9	59.1	39.0	35.2
平成30年度	受験者	1,178	10,675	3,127	3,286	18,484	3,215	39,965	2,250	609	741	9,800	939	21,194	5,383	40,916	80,881
	合格者	282	2,940	1,113	1,283	5,986	1,133	12,737	706	215	265	3,178	367	8,476	3,162	16,369	29,106
	合格率	23.9	27.5	35.6	39.0	32.4	35.2	31.9	31.4	35.3	35.8	32.4	39.1	40.0	58.7	40.0	36.0
令和元年度	受験者	1,087	10,036	3,023	3,072	17,361	3,205	37,784	2,169	660	799	8,849	988	21,333	5,135	39,933	77,717
	合格者	232	2,641	1,095	1,177	5,831	1,093	12,069	571	246	220	2,923	355	8,176	2,949	15,440	27,509
	合格率	21.3	26.3	36.2	38.3	33.6	34.1	31.9	26.3	37.3	27.5	33.0	35.9	38.3	57.4	38.7	35.4

(4) 筆記試験、実技試験の合格者の状況 (表10)

消防設備士試験には、筆記試験と実技試験の2つの試験がありますが、筆記試験の合格率は57.0%でした。筆記試験合格者のうち実技試験にも合格した者の全受験者に対する割合(最終合格率)は35.4%でした。

■ 表10 消防設備士試験の筆記試験、実技試験の合格状況 (単位：人，%)

試験種類	区分	甲 種							乙 種							合計
		特 類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類		
申請者数		1,299	13,899	3,835	3,902	23,080	3,958	2,748	769	934	11,421	1,176	26,839	6,018	99,878	
受験者数		1,087	10,036	3,023	3,072	17,361	3,205	2,169	660	799	8,849	988	21,333	5,135	77,717	
筆 記	合格者数	232	4,510	1,878	1,977	9,900	1,878	1,077	370	430	5,301	563	12,922	3,280	44,318	
	合格率	21.3	44.9	62.1	64.4	57.0	58.6	49.7	56.1	53.8	59.9	57.0	60.6	63.9	57.0	
実 技	合格者数	—	2,641	1,095	1,177	5,831	1,093	571	246	220	2,923	355	8,166	724	25,042	
	合格率	—	58.6	58.3	59.5	58.9	58.2	53.0	66.5	51.2	55.1	63.1	63.2	68.6	59.8	
最 終	合格者数	232	2,641	1,095	1,177	5,831	1,093	571	246	220	2,923	355	8,176	2,949	27,509	
	合格率	21.3	26.3	36.2	38.3	33.6	34.1	26.3	37.3	27.5	33.0	35.9	38.3	57.4	35.4	

(5) 職業別受験状況 (表11-1、表11-2)

受験申請者の職業のうち、最も多い職業は消防設備業であり、電気工事業、ビル管理業、管工事業がこれに次いで多くの割合を占めています。この傾向はほぼ例年どおりであり、これらの職業の従事者で全体の過半数を占めています。

職業別受験申請者数の推移(表11-2)については、ここ数年その構成割合に大きな変化は認められません。

■表 11-1 消防設備士試験の職業別受験状況

(単位：人、%)

職業	区分	甲種							乙種							合計	申請者の構成割合	
		特 類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小 計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類			小 計
学生	申請者	1	154	9	6	899	19	1,088	84	3	2	758	7	776	814	2,444	3,532	3.5
	受験者	1	131	6	4	785	17	944	70	1	2	644	7	666	760	2,150	3,094	
	合格者	1	29	2	0	251	8	291	12	0	0	176	4	225	305	722	1,013	
	合格率	100.0	22.1	33.3	0.0	32.0	47.1	30.8	17.1	0.0	0.0	27.3	57.1	33.8	40.1	33.6	32.7	
消防設備業	申請者	583	3,229	1,639	1,839	4,206	2,006	13,502	329	110	153	764	186	5,746	756	8,044	21,546	21.6
	受験者	482	2,412	1,263	1,426	3,366	1,592	10,541	263	94	124	616	161	4,632	623	6,513	17,054	
	合格者	96	560	385	425	925	354	2,745	51	28	30	152	36	1,280	329	1,906	4,651	
	合格率	19.9	23.2	30.5	29.8	27.5	22.2	26.0	19.4	29.8	24.2	24.7	22.4	27.6	52.8	29.3	27.3	
電気工事業	申請者	72	583	161	275	7,777	238	9,106	77	15	51	936	48	1,680	1,215	4,022	13,128	13.1
	受験者	62	430	120	220	5,636	189	6,657	53	15	43	706	35	1,285	990	3,127	9,784	
	合格者	8	128	42	79	1,420	70	1,747	12	7	14	172	8	418	504	1,135	2,882	
	合格率	12.9	29.8	35.0	35.9	25.2	37.0	26.2	22.6	46.7	32.6	24.4	22.9	32.5	50.9	36.3	29.5	
管工事業	申請者	62	5,371	564	352	624	128	7,101	176	10	12	120	11	884	114	1,327	8,428	8.4
	受験者	49	3,712	431	247	435	108	4,982	122	7	8	76	8	699	89	1,009	5,991	
	合格者	6	627	134	92	142	35	1,036	17	2	1	21	4	265	53	363	1,399	
	合格率	12.2	16.9	31.1	37.2	32.6	32.4	20.8	13.9	28.6	12.5	27.6	50.0	37.9	59.6	36.0	23.4	
建築業	申請者	38	1,277	195	184	1,626	176	3,496	101	17	35	379	35	943	183	1,693	5,189	5.2
	受験者	35	855	142	141	1,081	135	2,389	77	12	33	271	26	669	144	1,232	3,621	
	合格者	7	276	48	61	420	55	867	27	7	8	72	9	274	96	493	1,360	
	合格率	20.0	32.3	33.8	43.3	38.9	40.7	36.3	35.1	58.3	24.2	26.6	34.6	41.0	66.7	40.0	37.6	
ビル管理業	申請者	164	1,034	413	428	2,703	505	5,247	358	112	104	1,783	240	3,220	894	6,711	11,958	12.0
	受験者	135	766	340	351	1,973	420	3,985	280	93	81	1,329	207	2,396	783	5,169	9,154	
	合格者	25	327	155	192	812	170	1,681	104	39	35	471	83	1,076	536	2,344	4,025	
	合格率	18.5	42.7	45.6	54.7	41.2	40.5	42.2	37.1	41.9	43.2	35.4	40.1	44.9	68.5	45.3	44.0	
ビル整備業	申請者	0	42	14	13	77	12	158	17	2	9	80	7	130	31	276	434	0.4
	受験者	0	30	12	9	58	10	119	11	2	8	67	4	105	29	226	345	
	合格者	0	9	5	6	16	5	41	3	1	1	19	1	34	20	79	120	
	合格率	0.0	30.0	41.7	66.7	27.6	50.0	34.5	27.3	50.0	12.5	28.4	25.0	32.4	69.0	35.0	34.8	
公務員	申請者	84	389	155	173	804	241	1,846	243	61	53	706	141	1,776	325	3,305	5,151	5.2
	受験者	74	331	136	152	651	209	1,553	194	59	50	584	125	1,504	278	2,794	4,347	
	合格者	34	187	75	92	340	122	850	84	33	28	222	68	743	165	1,343	2,193	
	合格率	45.9	56.5	55.1	60.5	52.2	58.4	54.7	43.3	55.9	56.0	38.0	54.4	49.4	59.4	48.1	50.4	
その他	申請者	289	1,674	649	596	4,088	605	7,901	1,327	430	507	5,747	489	11,326	1,622	21,448	29,349	29.4
	受験者	243	1,267	543	491	3,172	505	6,221	1,069	371	443	4,440	404	9,079	1,382	17,188	23,409	
	合格者	53	481	238	220	1,463	266	2,721	256	126	102	1,585	140	3,809	909	6,927	9,648	
	合格率	21.8	38.0	43.8	44.8	46.1	52.7	43.7	23.9	34.0	23.0	35.7	34.7	42.0	65.8	40.3	41.2	
未入力	申請者	6	146	36	36	276	28	528	36	9	8	148	12	358	64	635	1,163	1.2
	受験者	6	102	30	31	204	20	393	30	6	7	116	11	298	57	525	918	
	合格者	2	17	11	10	42	8	90	5	3	1	33	2	52	32	128	218	
	合格率	33.3	16.7	36.7	32.3	20.6	40.0	22.9	16.7	50.0	14.3	28.4	18.2	17.4	56.1	24.4	23.7	
合計	申請者	1,299	13,899	3,835	3,902	23,080	3,958	49,973	2,748	769	934	11,421	1,176	26,839	6,018	49,905	99,878	100
	受験者	1,087	10,036	3,023	3,072	17,361	3,205	37,784	2,169	660	799	8,849	988	21,333	5,135	39,933	77,717	
	合格者	232	2,641	1,095	1,177	5,831	1,093	12,069	571	246	220	2,923	355	8,176	2,949	15,440	27,509	
	合格率	21.3	26.3	36.2	38.3	33.6	34.1	31.9	26.3	37.3	27.5	33.0	35.9	38.3	57.4	38.7	35.4	

■表 11-2 消防設備士試験の職業別受験申請者数の推移

(単位：人、%)

年度	区分	学 生	消防設備業	電気工事業	管工事業	建築業	ビル管理業	ビル整備業	公務員	その他	未入力	合計
平成 21 年度	申請者数	4,478	21,152	15,045	9,195	3,939	11,173	390	5,323	29,208	912	100,815
	構成割合	4.4	21.0	14.9	9.1	3.9	11.1	0.4	5.3	29.0	0.9	100
平成 26 年度	申請者数	4,680	20,148	13,803	8,472	5,629	12,005	447	6,219	31,075	1,746	104,224
	構成割合	4.5	19.3	13.2	8.1	5.4	11.5	0.4	6.0	29.8	1.7	100
令和 元 年度	申請者数	3,532	21,546	13,128	8,428	5,189	11,958	434	5,151	29,349	1,163	99,878
	構成割合	3.5	21.6	13.1	8.4	5.2	12.0	0.4	5.2	29.4	1.2	100

(6) 年代別受験状況 (表12)

年代別に見た場合、20歳代未満の受験申請者割合は3.2%であり、危険物取扱者試験のように、20歳代未満の受験申請者が際立って多いことはありません。30歳代の割合が最も多く27.8%を占め、40歳代、20歳代の割合がこれに続きます。

年代別合格率は、危険物取扱者試験と同じく、全体的には60歳代までは概ね年代が上がるにつれ高くなる傾向が見られます。

■ 表 12 消防設備士試験の年代別受験状況 (単位：人，%)

年代	区分	甲 種								乙 種								合計	申請者の 構成割合
		特 類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小 計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類	小 計			
20代 未満	申請者	0	185	6	4	810	19	1,024	57	0	3	465	1	873	792	2,191	3,215	3.2	
	受験者	0	151	6	4	702	17	880	48	0	3	416	1	777	744	1,989	2,869		
	合格者	0	14	1	1	167	4	187	9	0	0	55	0	155	289	508	695		
	合格率	0.0	9.3	16.7	25.0	23.8	23.5	21.3	18.8	0.0	0.0	13.2	0.0	19.9	38.8	25.5	24.2		
20代	申請者	72	4,257	591	581	7,153	505	13,159	579	102	150	2,281	137	7,207	1,131	11,587	24,746	24.8	
	受験者	60	3,001	454	453	5,256	403	9,627	464	81	123	1,737	107	5,754	896	9,162	18,789		
	合格者	21	726	143	155	1,596	139	2,780	115	28	35	491	27	1,883	437	3,016	5,796		
	合格率	35.0	24.2	31.5	34.2	30.4	34.5	28.9	24.8	34.6	28.5	28.3	25.2	32.7	48.8	32.9	30.8		
30代	申請者	337	4,052	1,197	1,260	6,378	1,334	14,558	779	194	234	2,928	284	7,412	1,388	13,219	27,777	27.8	
	受験者	284	2,937	910	984	4,729	1,050	10,894	603	166	202	2,209	242	5,860	1,150	10,432	21,326		
	合格者	67	813	346	367	1,630	334	3,557	160	63	44	754	96	2,329	718	4,164	7,721		
	合格率	23.6	27.7	38.0	37.3	34.5	31.8	32.7	26.5	38.0	21.8	34.1	39.7	39.7	62.4	39.9	36.2		
40代	申請者	464	3,563	1,261	1,278	5,455	1,257	13,278	699	261	324	2,886	349	6,734	1,576	12,829	26,107	26.1	
	受験者	379	2,539	1,004	996	4,083	1,024	10,025	546	233	285	2,195	291	5,217	1,363	10,130	20,155		
	合格者	84	677	364	396	1,444	326	3,291	148	83	80	777	108	2,225	874	4,295	7,586		
	合格率	22.2	26.7	36.3	39.8	35.4	31.8	32.8	27.1	35.6	28.1	35.4	37.1	42.6	64.1	42.4	37.6		
50代	申請者	281	1,420	610	586	2,530	640	6,067	499	164	155	2,008	282	3,610	858	7,576	13,643	13.7	
	受験者	246	1,072	508	477	1,971	548	4,822	388	140	128	1,593	243	2,883	738	6,113	10,935		
	合格者	40	309	175	197	730	222	1,673	108	56	40	591	88	1,178	471	2,532	4,205		
	合格率	16.3	28.8	34.4	41.3	37.0	40.5	34.7	27.8	40.0	31.3	37.1	36.2	40.9	63.8	41.4	38.5		
60代	申請者	131	381	155	183	686	190	1,726	128	40	57	793	109	892	247	2,266	3,992	4.0	
	受験者	106	301	126	148	563	150	1,394	115	34	48	650	91	750	222	1,910	3,304		
	合格者	20	99	61	60	249	63	552	29	14	21	247	35	366	146	858	1,410		
	合格率	18.9	32.9	48.4	40.5	44.2	42.0	39.6	25.2	41.2	43.8	38.0	38.5	48.8	65.8	44.9	42.7		
70代 以上	申請者	14	41	15	10	68	13	161	7	8	11	60	14	111	26	237	398	0.4	
	受験者	12	35	15	10	57	13	142	5	6	10	49	13	92	22	197	339		
	合格者	0	3	5	1	15	5	29	2	2	0	8	1	40	14	67	96		
	合格率	0.0	8.6	33.3	10.0	26.3	38.5	20.4	40.0	33.3	0.0	16.3	7.7	43.5	63.6	34.0	28.3		
合 計	申請者	1,299	13,899	3,835	3,902	23,080	3,958	49,973	2,748	769	934	11,421	1,176	26,839	6,018	49,905	99,878	100	
	受験者	1,087	10,036	3,023	3,072	17,361	3,205	37,784	2,169	660	799	8,849	988	21,333	5,135	39,933	77,717		
	合格者	232	2,641	1,095	1,177	5,831	1,093	12,069	571	246	220	2,923	355	8,176	2,949	15,440	27,509		
	合格率	21.3	26.3	36.2	38.3	33.6	34.1	31.9	26.3	37.3	27.5	33.0	35.9	38.3	57.4	38.7	35.4		

4 予防技術検定の実施状況

予防技術検定は、予防技術資格者制度の発足に伴い、平成17年度から各年度1回ずつ全国一斉に実施していますが、令和元年3月15日に実施した第15回検定では、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、北海道会場での検定を中止したことや、当日、風邪等の症状により受検を延期した受検者がいた影響により、受検申請者が7,904人と、前年度と比べ1,357人減少しました。

■ 表 13 予防技術検定の実施状況 (単位：人，%)

実施回	年 度	申請者数	受検者数	合格者数	合格率
第10回	平成26年度	7,151	6,771	3,270	48.3
第11回	平成27年度	7,858	7,328	2,826	38.6
第12回	平成28年度	8,333	7,813	4,556	58.3
第13回	平成29年度	8,967	8,447	4,001	47.4
第14回	平成30年度	9,261	8,752	4,297	49.1
第15回	令和元年度	7,904	7,382	4,104	55.6

令和元年度の免状作成等の状況について —免状部—

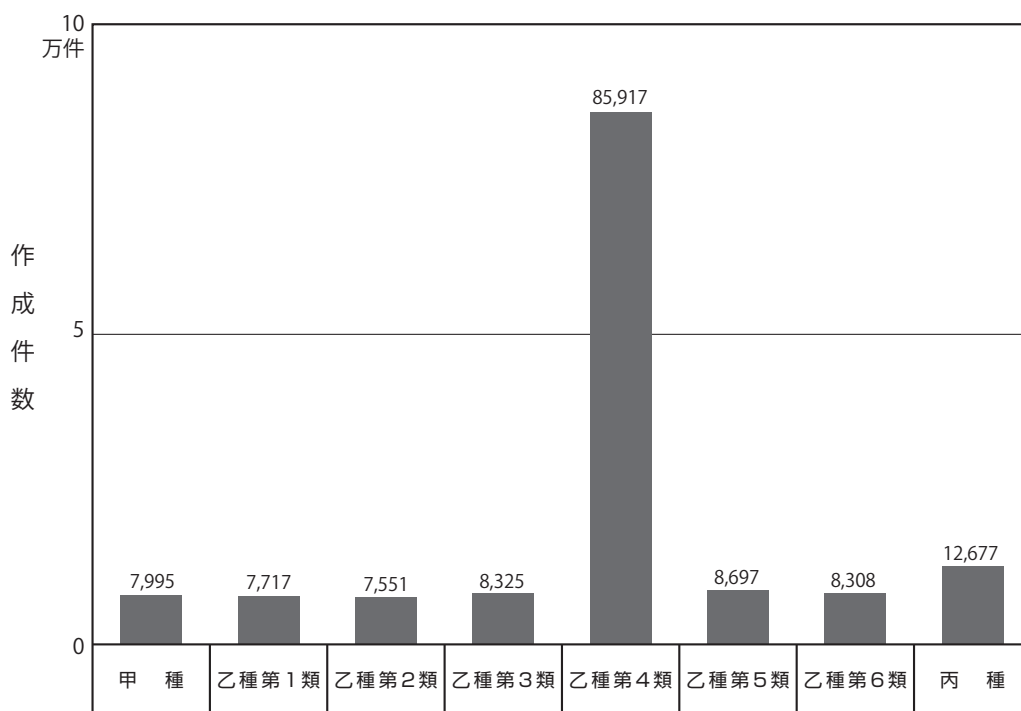
当センターが、令和元年度に都道府県から受託して作成した免状等の状況は、次のとおりです。

1 新規免状作成状況

(1) 危険物取扱者

危険物取扱者の新規免状作成件数は、図1のとおり、平成30年度と比べて5.1%減の14万7千187件となっています。

■図1 令和元年度 危険物取扱者新規免状作成件数

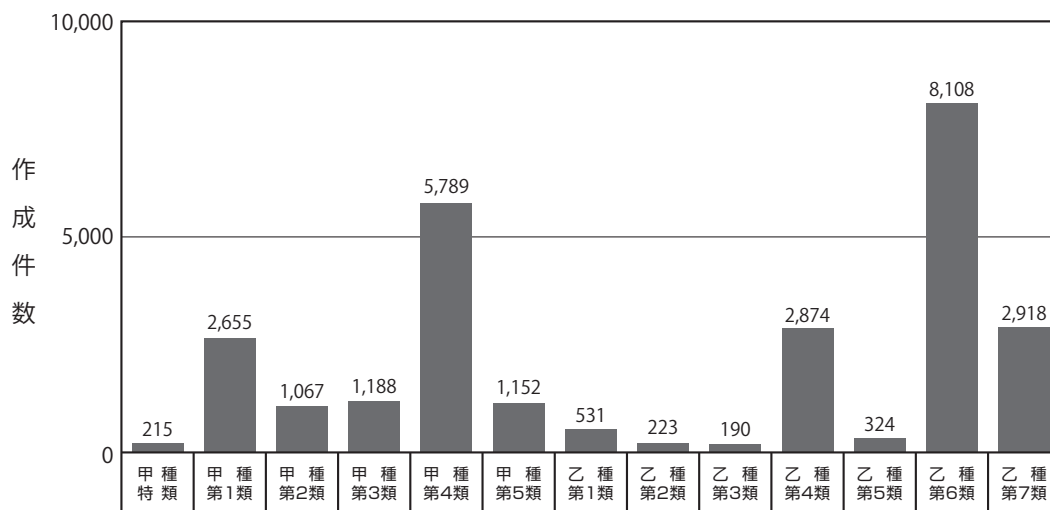


年度	甲種	乙種						丙種	合計
		第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類		
平成30年度	7,924	8,331	8,019	8,934	89,964	8,842	9,029	14,018	155,061
令和元年度	7,995	7,717	7,551	8,325	85,917	8,697	8,308	12,677	147,187
増減率	0.9%	-7.4%	-5.8%	-6.8%	-4.5%	-1.6%	-8.0%	-9.6%	-5.1%

(2) 消防設備士

消防設備士の新規免状作成件数は、図2のとおり、平成30年度と比べて3.7%減の2万7千234件となっています。

■図2 令和元年度 消防設備士新規免状作成件数



年度	甲種						乙種							合計
	特類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類	
平成30年度	271	2,969	1,161	1,276	5,779	1,107	694	224	266	3,032	350	8,072	3,067	28,268
令和元年度	215	2,655	1,067	1,188	5,789	1,152	531	223	190	2,874	324	8,108	2,918	27,234
増減率	-20.7%	-10.6%	-8.1%	-6.9%	0.2%	4.1%	-23.5%	-0.4%	-28.6%	-5.2%	-7.4%	0.4%	-4.9%	-3.7%

2 免状処理状況の推移

昭和63年度から令和元年度までの免状処理状況の推移は、図3、図4、表1及び表2のとおりです。過去10年間の推移をみると次のとおりです。

(1) 新規

ア 危険物取扱者は、平成21年度の19万9千816件をピークに19万件台から14万件台で推移しています。令和元年度は、前年度に比べ5.1%減の14万7千187件となっています。

イ 消防設備士は、平成26年度の2万9千145件がピークに2万件台で推移しています。令和元年度は、前年度に比べ3.7%減の2万7千234件となっています。

(2) 写真書換え

ア 危険物取扱者は、平成23年度の13万7千460件をピークに減少傾向にありましたが、平成29年度から緩やかに増加に転じ、令和元年度は前年度に比べ10.4%増の11万5千922件となっています。

イ 消防設備士は、危険物取扱者と同様に平成23年度の1万3千80件をピークに1万2千件台から1万1千件台で推移しています。令和元年度は、前年度に比べ10.1%増の1万3千59件となっています。

(3) 本籍等の書換え

ア 危険物取扱者は、平成25年度から新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数を表示しています。令和元年度は、前年度に比べ6.8%増の1千777件となっています。

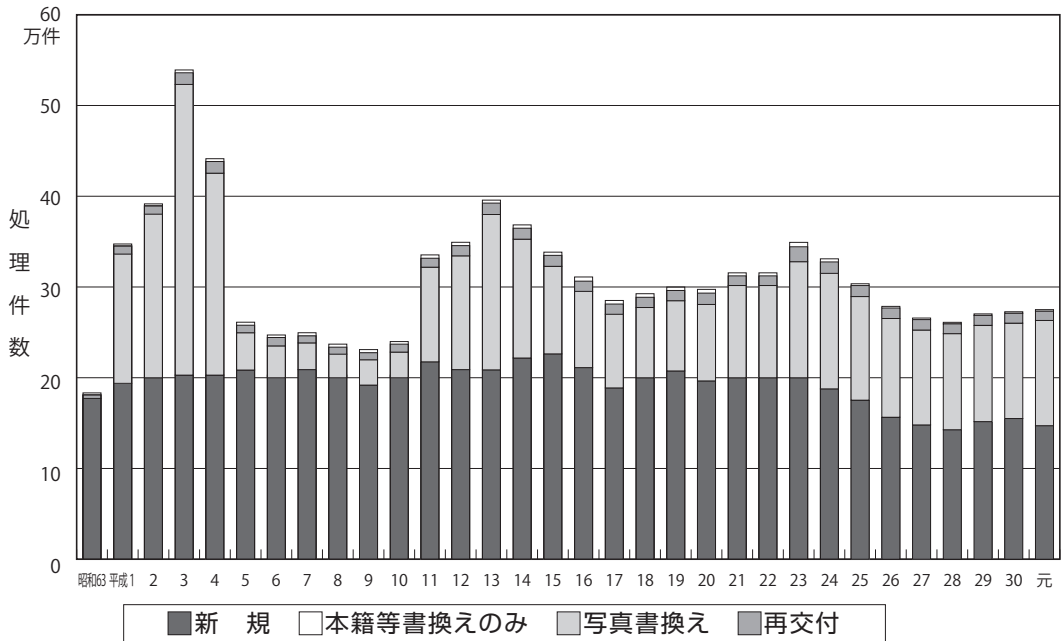
イ 消防設備士も危険物取扱者と同様の表示です。令和元年度は前年度に比べ5.2%増の223件となっています。

(4) 再交付

ア 危険物取扱者は、平成23年度の1万4千628件をピークに1万件台で推移しています。令和元年度は、前年度に比べ2.0%増の1万1千62件となっています。

イ 消防設備士は、1千件前後で推移しています。令和元年度は、前年度に比べ2.1%減の921件となっています。

■図3 危険物取扱者の免状処理状況の推移



■図4 消防設備士の免状処理状況の推移

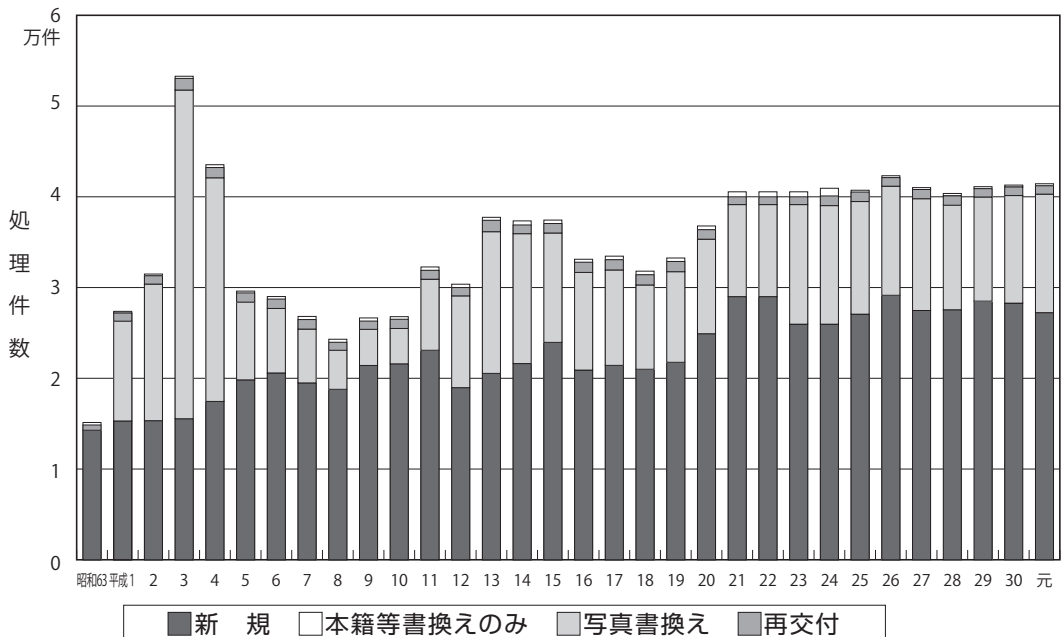


表1 危険物取扱者免状処理状況の推移

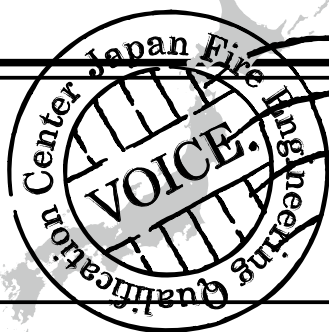
年度	合計	対前年増減率	免状作成件数						本籍等の書換え			
			対前年増減率	新規	対前年増減率	写真書換え	対前年増減率	再交付	対前年増減率	対前年増減率		
昭和63年度	182,519	—	180,838	—	177,566	—	—	—	3,272	—	1,681	—
平成1年度	346,876	90.0%	345,648	91.1%	194,564	9.6%	143,422	—	7,662	134.2%	1,228	-26.9%
平成2年度	391,648	12.9%	390,165	12.9%	199,375	2.5%	181,642	26.6%	9,148	19.4%	1,483	20.8%
平成3年度	539,433	37.7%	537,231	37.7%	202,844	1.7%	321,056	76.8%	13,331	45.7%	2,202	48.5%
平成4年度	440,831	-18.3%	438,636	-18.4%	202,975	0.1%	223,087	-30.5%	12,574	-5.7%	2,195	-0.3%
平成5年度	262,788	-40.4%	260,787	-40.5%	208,727	2.8%	44,325	-80.1%	7,735	-38.5%	2,001	-8.8%
平成6年度	248,916	-5.3%	246,614	-5.4%	201,848	-3.3%	36,504	-17.6%	8,262	6.8%	2,302	15.0%
平成7年度	251,749	1.1%	249,179	1.0%	211,299	4.7%	29,927	-18.0%	7,953	-3.7%	2,570	11.6%
平成8年度	239,407	-4.9%	236,524	-5.1%	202,421	-4.2%	26,280	-12.2%	7,823	-1.6%	2,883	12.2%
平成9年度	232,704	-2.8%	229,664	-2.9%	194,220	-4.1%	27,355	4.1%	8,089	3.4%	3,040	5.4%
平成10年度	241,814	3.9%	238,753	4.0%	203,114	4.6%	27,086	-1.0%	8,553	5.7%	3,061	0.7%
平成11年度	336,025	39.0%	332,893	39.4%	220,497	8.6%	102,647	279.0%	9,749	14.0%	3,132	2.3%
平成12年度	350,831	4.4%	347,739	4.5%	211,281	-4.2%	125,622	22.4%	10,836	11.1%	3,092	-1.3%
平成13年度	394,582	12.5%	391,442	12.6%	209,542	-0.8%	169,911	35.3%	11,989	10.6%	3,140	1.6%
平成14年度	370,008	-6.2%	366,897	-6.3%	222,496	6.2%	132,005	-22.3%	12,396	3.4%	3,111	-0.9%
平成15年度	339,491	-8.2%	336,370	-8.3%	227,288	2.2%	96,983	-26.5%	12,099	-2.4%	3,121	0.3%
平成16年度	331,034	-8.4%	308,000	-8.4%	212,220	-6.6%	84,159	-13.2%	11,621	-4.0%	3,034	-2.8%
平成17年度	284,975	-8.4%	281,941	-8.5%	189,455	-10.7%	80,987	-3.8%	11,499	-1.0%	3,034	0.0%
平成18年度	292,603	2.7%	289,406	2.6%	200,093	5.6%	77,283	-4.6%	12,030	4.6%	3,197	5.4%
平成19年度	300,211	2.6%	296,952	2.6%	207,754	3.8%	77,283	0.0%	11,915	-1.0%	3,259	1.9%
平成20年度	297,098	-1.0%	293,815	-1.1%	196,075	-5.6%	84,923	9.9%	12,817	7.6%	3,283	0.7%
平成21年度	321,663	8.3%	318,486	8.4%	199,816	1.9%	106,110	24.9%	12,560	-2.0%	3,177	-3.2%
平成22年度	322,723	0.3%	319,375	0.3%	192,459	-3.7%	114,549	8.0%	12,367	-1.5%	3,348	5.4%
平成23年度	353,617	9.6%	350,030	9.6%	197,942	2.8%	137,460	20.0%	14,628	18.3%	3,587	7.1%
平成24年度	331,084	-6.4%	327,660	-6.4%	187,758	-5.1%	127,300	-7.4%	12,602	-13.9%	3,424	-4.5%
平成25年度	303,580	-8.3%	301,616	-7.9%	175,299	-6.6%	114,195	-10.3%	12,122	-3.8%	1,964	-42.6%
平成26年度	278,640	-8.2%	276,871	-8.2%	156,466	-10.7%	108,828	-4.7%	11,577	-4.5%	1,769	-9.9%
平成27年度	265,757	-4.6%	264,031	-4.6%	147,966	-5.4%	104,558	-3.9%	11,507	-0.6%	1,726	-2.4%
平成28年度	258,059	-2.9%	256,330	-3.0%	142,716	-3.5%	102,883	-1.6%	10,731	-6.7%	1,729	0.2%
平成29年度	267,738	3.8%	266,087	3.8%	151,668	6.3%	103,434	0.5%	10,985	2.4%	1,651	-4.5%
平成30年度	272,564	1.8%	270,900	1.8%	155,061	2.2%	104,995	1.5%	10,844	-1.3%	1,664	0.8%
令和元年度	275,948	1.2%	274,171	1.2%	147,187	-5.1%	115,922	10.4%	11,062	2.0%	1,777	6.8%

注) 平成25年度以降の本籍等の書換えは、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数

表2 消防設備士免状処理状況の推移

年度	合計	対前年増減率	免状作成件数						本籍等の書換え			
			対前年増減率	新規	対前年増減率	写真書換え	対前年増減率	再交付	対前年増減率	対前年増減率		
昭和63年度	14,988	—	14,753	—	14,218	—	—	—	535	—	235	—
平成1年度	27,231	81.7%	27,092	83.6%	15,232	7.1%	11,062	—	798	49.2%	139	-40.9%
平成2年度	31,299	14.9%	31,179	15.1%	15,246	0.1%	15,031	35.9%	902	13.0%	120	-13.7%
平成3年度	53,267	70.2%	53,088	70.3%	15,439	1.3%	36,435	142.4%	1,214	34.6%	179	49.2%
平成4年度	43,398	-18.5%	43,196	-18.6%	17,386	12.6%	24,585	-32.5%	1,225	0.9%	202	12.8%
平成5年度	29,578	-31.8%	29,403	-31.9%	19,734	13.5%	8,716	-64.5%	953	-22.2%	175	-13.4%
平成6年度	28,994	-2.0%	28,760	-2.2%	20,632	4.6%	7,054	-19.1%	1,074	12.7%	234	33.7%
平成7年度	26,691	-7.9%	26,464	-8.0%	19,479	-5.6%	5,910	-16.2%	1,075	0.1%	227	-3.0%
平成8年度	24,274	-9.1%	23,971	-9.4%	18,728	-3.9%	4,276	-27.6%	967	-10.0%	303	33.5%
平成9年度	26,576	9.5%	26,297	9.7%	21,295	13.7%	4,043	-5.4%	959	-0.8%	279	-7.9%
平成10年度	26,691	0.4%	26,394	0.4%	21,567	1.3%	3,877	-4.1%	950	-0.9%	297	6.5%
平成11年度	32,256	20.8%	31,920	20.9%	23,105	7.1%	7,819	101.7%	996	4.8%	336	13.1%
平成12年度	30,402	-5.7%	30,107	-5.7%	18,881	-18.3%	10,192	30.3%	1,034	3.8%	295	-12.2%
平成13年度	37,655	23.9%	37,359	24.1%	20,539	8.8%	15,610	53.2%	1,210	17.0%	296	0.3%
平成14年度	37,288	-1.0%	36,947	-1.1%	21,629	5.3%	14,224	-8.9%	1,094	-9.6%	341	15.2%
平成15年度	37,387	0.3%	37,053	0.3%	23,877	10.4%	12,038	-15.4%	1,138	4.0%	334	-2.1%
平成16年度	33,025	-11.7%	32,733	-11.7%	20,753	-13.1%	10,823	-10.1%	1,157	1.7%	292	-12.6%
平成17年度	33,345	1.0%	33,030	0.9%	21,297	2.6%	10,607	-2.0%	1,126	-2.7%	315	7.9%
平成18年度	31,656	-5.1%	31,325	-5.2%	20,905	-1.8%	9,314	-12.2%	1,106	-1.8%	331	5.1%
平成19年度	33,142	4.7%	32,854	4.9%	21,705	3.8%	10,029	7.7%	1,120	1.3%	288	-13.0%
平成20年度	36,659	10.6%	36,369	10.7%	24,790	14.2%	10,527	5.0%	1,052	-6.1%	290	0.7%
平成21年度	40,390	10.2%	40,064	10.2%	28,458	14.8%	10,548	0.2%	1,058	0.6%	326	12.4%
平成22年度	40,379	0.0%	40,079	0.0%	27,444	-3.6%	11,557	9.6%	1,078	1.9%	300	-8.0%
平成23年度	40,214	-0.4%	39,885	-0.5%	25,586	-6.8%	13,080	13.2%	1,219	13.1%	329	9.7%
平成24年度	40,941	1.8%	40,662	1.9%	26,531	3.7%	13,067	-0.1%	1,064	-12.7%	279	-15.2%
平成25年度	40,723	-0.5%	40,525	-0.3%	27,066	2.0%	12,412	-5.0%	1,047	-1.6%	198	-29.0%
平成26年度	42,319	3.9%	42,112	3.9%	29,145	7.7%	12,021	-3.2%	946	-9.6%	207	9.0%
平成27年度	41,011	-3.1%	40,802	-3.1%	27,470	-5.7%	12,317	2.5%	1,015	7.3%	209	1.0%
平成28年度	40,365	-1.6%	40,102	-1.7%	27,552	0.3%	11,517	-6.5%	1,033	1.8%	263	25.8%
平成29年度	41,107	1.8%	40,897	2.0%	28,500	3.4%	11,476	-0.4%	921	-10.8%	210	-20.2%
平成30年度	41,278	0.4%	41,066	0.4%	28,268	-0.8%	11,857	3.3%	941	2.2%	212	1.0%
令和元年度	41,437	0.4%	41,214	3.6%	27,234	-3.7%	13,059	10.1%	921	-2.1%	223	5.2%

注) 平成25年度以降の本籍等の書換えは、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数



支部の広場

静岡県支部からお届け

はじめに～静岡県の概要

静岡県は日本のほぼ中央に位置し温暖、自然は日本の豊かな風土の縮図、県内人口は370万人で、県内総生産等多くの指標で「全国10位」、全国の「3%経済」、「日本経済の縮図」と言われていますが、特徴があるようでないような、何でもあるといえば何でもある、そんな感じです。「My静岡日本一」のページから紹介しますと、日本一高い富士山と日本一深い駿河湾、伊豆半島ジオパーク（世界ジオパーク）、韮山反射炉（世界遺産）、温室メロン、水わさび、まぐろ、桜えび、あじの干物、かつお、お茶…ですが、おすすめは、吟醸酒、かつお、生桜えび、生しらす、三島の鰻でしょうか。

また、東京オリンピック・パラリンピック自転車競技のロードレース、マウンテンバイク、トラック競技が静岡県で開催されることになっていますので、こちらもよろしく。

支部の状況

事務所は静岡市の繁華街に近い民間ビルの4階で、県庁へは徒歩10分という交通至便な場所にあります。夕方には、静岡おでんの店が並ぶ青葉横丁から、いい匂いが漂ってきます。職員は、支部長、副支部長、主任2名です。来所される方や電話照会も多く、お昼も当番制で対応をしているところです。

静岡県は、東西に長く、主に東海道に沿って都市が連担しているので、同日に最大12会場で行われる危険物取扱者試験を実施しています。1回の試験で150人の試験監督員が必要であるため、登録している監督員は250人います。内訳は消防職員OBが3分の2、残りは県職員OBですが、毎年、試験監督員の補充確保に苦労しています。また、人数が多いため、監督員賃金の経理事務や試験出席照会、試験監督要領の発送など、試験実施までの準備作業にかなり手間がかかりますが、受験者確保のためには受験しやすい会場を用意するという点で、致し方ないと思います。

試験業務の概要

①危険物取扱者試験

一般試験は年4回、全種類の試験を延べ23会場で行っています。また、企業、高校、消防学校、更正施設の特定試験を延べ16会場で行っています。

受験申請者の直近のピークは平成15年度の18,758人で、このうち高校生の割合は47.4%、8,888人でした。以降、減少が続き、令和元年度までに36.1%、6,773人減少しました。このうち93.5%、6,330人が高校生で、平成15年度比で7割以上も減少しました。

このように高校生受験申請者の減少がそのまま全体の減少につながっていることから、できることは何でもやるという姿勢で高校生受験者の確保対策に取り組んで参りました。

■受験申請者数の推移

年度	H15	H27	H28	H29	H30	R1	減少率
一般	9,870	10,287	10,277	9,688	9,622	9,427	95.5%
	前年比	▲771	▲10	▲589	▲66	▲195	
	H15比	417	407	▲182	▲248	▲443	-4.5%
高校生	8,888	3,303	2,781	2,705	2,461	2,558	28.8%
	前年比	▲232	▲522	▲76	▲244	97	
	H15比	▲5,585	▲6,107	▲6,183	▲6,427	▲6,330	-71.2%
合計	18,758	13,590	13,058	12,393	12,083	11,985	63.9%
	前年比	▲1,003	▲532	▲665	▲310	▲98	
	H15比	▲5,168	▲5,700	▲6,365	▲6,675	▲6,773	-36.1%

当支部では、平成30年、令和元年と続けて受験しやすい環境づくりモデル事業（工業高校等）を実施し、その前後にも校長が出席する会議で、危険物取扱者試験の状況報告を3回行いました。この中で高校生受験者が著しく減少しているとともに、甲種又は乙種全種の免状取得表彰者も減少している現状を報告し、その対策として危険物取扱者資格取得に熱心に取り組まれている教諭を支援したいこと、危険物特定試験実施を検討していただきたいことを説明しました。これにより、令和元年度から2校が特定試験を実施することになり、平成28年度に217人だった高校特定試験の申請者は、令和元年度には826人に増加しました。



この他の取組みとの相乗効果もあって、受験申請者合計の減少幅は徐々に縮まり、令和元年度は100人未満まで改善したところです。

しかし、令和2年度第1回目となる6月7日の一般試験の出願者は、コロナの影響で前年比66.6%の2,300人と激減し、最終的には試験延期となり、前途多難なスタートとなってしまいました。

■高校特定試験の状況

年度	H28	H29	H30	R1
実施校	1	2	2	4
実施回数	1	4	4	9
申請者数	217	545	418	826

②消防設備士試験

平成23年度からの年2回実施となり、この年度の受験申請者数は、前年度比56%増の1,860人でした。その後は1,900人前後で推移し、平成27年度の2,032人がピークでしたが、令和元年度は1,790人で減少傾向にあります。

■受験申請者の推移

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R1/H27
甲	999	991	1,015	936	898	89.9%
乙	1,033	857	983	912	892	86.4%
合計	2,032	1,848	1,998	1,848	1,790	88.1%

○ 免状業務の概要

免状交付件数はこの4年間で、危険物、設備士共に26%増加しています。特に昨年度は、写真書換え未了者へのお知らせ業務を実施しましたので、写真書換え件数の前年度比は、危険物で137%、設備士で167%と著しい増加となり、朝から晩まで免状業務に追われる毎日でした。

お知らせ業務は、平成20年度免状交付者のうち、9月時点での写真書換え未了者を抽出し、約4,600人にお知らせ葉書を郵送しましたが、約3割が返戻されました。

業務実施に当たり、中央試験センター、本部免状課及び経理課の御担当者には丁寧に御指導をいただきありがとうございました。

■免状交付件数の推移

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R1/H30	
危険物取扱者	新規	4,282	4,105	4,531	4,584	4,645	101.3%
	本籍	96	68	93	112	128	114.3%
	写真	3,262	3,606	3,399	3,602	4,933	137.0%
	再交付	337	349	311	335	361	107.8%
	小計	7,977	8,128	8,334	8,633	10,067	116.6%
消防設備士	新規	518	476	442	485	652	134.4%
	本籍	5	3	4	3	4	133.3%
	写真	223	191	250	180	301	167.2%
	再交付	19	14	20	21	12	57.1%
	小計	765	684	716	689	969	140.6%
合計	8,742	8,812	9,050	9,322	11,036	118.4%	

○ おわりに

いつも危機意識をもって試験に臨んでいるところですが、幸いにもこの4年間は、大きなトラブルもなく、天候にも恵まれ、無事故で終えることができました。

ところが、今年に入ってからの新型コロナウイルス感染症の拡大。当支部でも試験を延期(中止)しましたが、支部始まって以来、初の出来事です。日常業務でも手一杯の中、受験者への通知作業など、その対応には苦勞しました。全国の支部の皆様も、大変な御苦勞をされていると思いますが、協力してこのピンチを乗り切りましょう。

トピック top!c

甲種危険物取扱者試験合格体験記

甲種危険物取扱者試験への挑戦

1. 危険物取得者資格を知るきっかけ

私が危険物取扱者の資格を知ったのは、高校に入学したときでした。当初は特に取りたい資格は決めておらず、とりあえずは何か一つ資格を取っておこうと心の中で考えていました。そんな目標を胸に秘めていた時、最初に耳に入ってきたのが、担任の先生が紹介してくれた危険物取扱者試験でした。もしも、この時に耳に入っていなかったらこの資格には興味を持たなかったと思います。すぐに職員室に願書を貰いに行きました。これが私の挑戦の始まりです。

2. 危険物取扱者試験の難しさ

願書を提出した日、すぐに教科書を買に行きました。少しでも多く読むことが合格の可能性を上げることだと思っていたからです。早速、教科書を開きました。小説などで見かけたことがあるたくさんの文字が何ページも何ページもあって、尚且つ、意味が全く理解できない単語ばかり載っていました。思わず教科書を閉じてしまいました。本当に合格できるのだろうかという不安と、絶望感で私の心も閉じてしまいました。この時、人は簡単に心を変化させるんだと理解しました。帰ってから調べた合格率を見て、色々納得することができました。そんな放心状態の私を救ってくれたのは、またしても担任の先生でした。実際に取得している担任の先生は「勉強すれば取れるから大丈夫!!」と声をかけてくださいました。当初は、取得者からの「煽りなのか」と思っていたのですが、暫時の時が過ぎたときかけられた言葉、「分からないところがあったら聞きおいで」の一言によって、一瞬で変わりました。不安だった故、こんなにわかりやすい優しさにも気づくことができなかった自分が恥ずかしく思います。「ありがとうございます。ぜひ、頼らせてもらいます。」笑顔がいつの間にか生まれていました。すぐにやる気を取り戻



木村 朝輝

島根県立松江工業高等学校
情報技術科3年

した私はもう一度教科書を開きました。多分、前はしっかりと読んでいなかったのかもしれませんが。思ったよりもスムーズに読むことができました。わからない言葉が出てきたときはすぐに先生に聞きに行きました。そして、たくさんの知識を手に入れることができました。確かに危険物取扱者は難しい資格でしょう。あやふやな情報はすぐに調べることが大切だと思います。その努力を怠れば、合格するのは難しいかもしれません。

3. 乙種第4類への挑戦

危険物取扱者試験は大きく分けて、「法令」、「物化」、「性質及び消化方法」の三つになります。わかりやすく言い換えれば、「数学」、「国語」、「英語」のようなものです。つまり、三教科分勉強して受からなければなりません。それを、約一か月。当初部活動の大会が近く、部活にも時間を割く必要がありました。それほどまでに余裕がない私は僅かな時間を見つけては教科書を開いていました。そうして迎えた本番。当日は朝からずっと胸の中の鼓動がうるさかったです。それほど緊張していました。だけど、それは試験が始まるまでの話です。問題を見れば見るほど、自分が冷静になっていくことに気づきました。なぜなら、それは、見たことのある景色だったからです。余裕の笑みを浮かべてすらすらと問題を解いていけば気が付けば最終問題です。結果は勿論合格です。「努力してよかった」と心の中でつぶやきました。

4. 甲種を挑戦するための切符取得

乙種第四類を取得した私は、無謀にも甲種も取ってみようと思いました。甲種を取るには、まず乙種をいくつか取得しなければなりません。しかし、「法令」、「物化」の二教科が免除されます。私は第3・5・6類に挑戦しました。私たちの学校では乙種第4類を取得した生徒は乙種全類取得を目指すようです。でも私は甲種最短取得を考えていたのでこのような選択をしました。

5. 甲種への挑戦

私は思った以上に次々と合格したので、謎の自信で甲種へ挑戦しました。甲種は乙種の危険物の集大成である「性質及び消化方法」と乙種4類で学んだ「法令」。これらは特に問題はありませんでした。問題なのは、「物化」。乙種4類で学んだ「物化」とはレベルが違いました。担任の先生はあまり覚えていないとのことで、今度は化学の先生に助けを求めました。化学の先生とは話すことが多く、先生のわかりやすい解説のおかげで、しっかりと理解をすることができました。そして迎えた本番。この日は乙種4類の時に感じた緊張が帰ってきました。まずは、自信のある「法令」、「性質及び消化方法」を先に解きました。そして本番はここから「物化」です。恐る恐る問題を見て愕然、予想が外れました。「終わった、」と頭の中でつぶやきながら、それでも真剣に問題を読解しました。自分が知りうる知識を絞りました。試験終了後、一番最初に出てきた言葉は「ダメだった」。私はもっと努力をするべきでした。合格発表までずっと絶望に浸っていました。そして訪れた合格発表。自分の手で調べるのが怖かった私は母に見てもらいました。その時間がどれだけ怖かったのは鮮明に覚えています。そして告げられた一言は「合格してるよ!!」。嬉しさよりも驚きが大きかったです。あの時の感動はこれからの人生でも味わえるかわからない程大きなものでした。

6. これらを通じて得た答え

甲種の試験を受けるとき、誰もが「情報技術科が危

険物取ってどうなるの?」と私を諭しました。知識とは己の視野の広さ。唐突に出てきて理解が追いついていないと思います。見たり、聞いたりなどして得た知識がたくさんを選択肢を作ります。本当は沢山ある方法でも、知識がなかったら、数少ない選択肢からしか選ぶことができません。それが最善の策じゃないと分かっていても、知らないから他の行動をとるしかない。私はこの答えにたどり着きました。以降、知識はいくらあってもいい。たとえ、それがこれからの人生で必要ないものだとしても決して無駄にはならない。これが、危険物取扱者試験を体験して成長し、私が見つけた、私なりの答えです。

動かし方の知らぬ目で見える景色は一枚の写真と変わらない。だけど、動かし方を知れば、写真に写らなかった景色が見えてくる。



消防庁の通知・通達等

◆令和元年中の危険物に係る事故に関する執務資料の送付について(通知)

消防危第139号 令和2年5月29日

消防庁危険物保安室長

各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長 あて

要旨

今般、「令和元年中の危険物に係る事故の概要」及び「都道府県別の危険物に係る事故の発生状況」をそれぞれ別添1及び別添2のとおり取りまとめました。また、令和元年中の危険物に係る事故の主なポイント、指導上の留意事項等を下記のとおり取りまとめましたので、執務上の参考として下さい。

各都道府県消防防災主管部長におかれましては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対してもこの旨周知くださいますようお願いいたします。

なお、本通知は消防組織法（昭和22年法律第226号）第37条の規定に基づく助言として発出するものであることを申し添えます。

記

1 令和元年中の危険物に係る事故の主なポイント

(1) 火災事故

ア 火災事故の発生及び被害の状況

前年と比較して危険物施設における火災事故の発生件数は12件増加し、218件となっており、そのうち重大事故は15件発生している。

施設別の火災事故発生件数については、一般取扱所、給油取扱所、製造所の順となっており、この3施設で全体の約91%（198件/218件）を占めている。

また、1万施設当たりの火災事故の発生件数（以下、「火災事故の発生率」という。）の高い危険物施設は、製造所、一般取扱所であり、近年この傾向は変わっていない。

イ 重大事故の発生施設

重大事故の発生施設としては、一般取扱所が最も多く9件、次いで屋外タンク貯蔵所が2件、製造所が1件、屋内貯蔵所が1件、屋外貯蔵所が1件、給油取扱所が1件の順となっている。

ウ 重大事故における深刻度評価指標

深刻度評価指標別に各重大事故をみると、収束時間指標が重大事故要件に達しているものが10件、影響範囲指標が5件、人的評価指標が1件となっている。（各指標の件数は、重大事故の要件に達しているものを全て計上している。）

エ 出火の原因に関係した物質

火災事故のうち、危険物が出火原因物質となる火災事故が約45%（97件/218件）を占めている。このうち、第4類の危険物によるものが約86%（83件/97件）を占めており、品名別にみると、第4類第1石油類が約45%（37件/83件）と最も高い割合を占めている。

オ 火災事故の発生原因及び着火原因

火災事故の発生原因では、人的要因が約57%（124件/218件）を占めている。このうち、維持管理不十分によるものが約40%（49件/124件）を占めている。主な着火原因では、静電気火花が約18%（40件/218件）と最も高く、次いで高温表面熱が約12%（26件/218件）の割合を占めている。

(2) 流出事故

ア 流出事故の発生及び被害の状況

前年と比較して危険物施設における流出事故の発生件数は流出事故の発生件数は23件減少して、380件となっており、そのうち重大事故は59件発生している。

施設別の流出事故件数については、一般取扱所、給油取扱所、屋外タンク貯蔵所の順となっており、この3施設で約施設で約59%（225件/380件）を占めている。

1 万施設当たりの流出事故の発生件数（以下、「流出事故の発生率」という。）の高い危険物施設は、移送取扱所、製造所、一般取扱所であり、近年この傾向は変わっていない。

イ 重大事故の発生施設

重大事故の発生施設としては、移動タンク貯蔵所が最も多く24件、次いで屋外タンク貯蔵所が13件、給油取扱所が8件の順となっている。

ウ 重大事故における深刻度評価

深刻度評価指標別に各重大事故をみると、流出範囲指標が重大事故要件に達しているものが52件、流出量指標が12件、人的評価指標は0件であった。（各指標の件数は、重大事故の要件に達しているものを全て計上している。）

エ 流出した危険物

流出事故において流出した危険物の種類は、第4類の危険物が約98%（373件/380件）を占めており、このうち第4類第2石油類が約44%（164件/373件）と最も高い割合を占めている。

オ 流出事故の発生原因

流出事故の発生原因は、物的要因が約52%（199件/380件）を占めている。このうち、腐食疲労等劣化によるものが約64%（128件/199件）を占めている。腐食疲労等劣化による流出事故が多い施設は、屋外タンク貯蔵所、一般取扱所、給油取扱所の順となっている。

また、約40%（152件/380件）を占める人的要因のうち、操作確認不十分によるものが約34%（51件/152件）を占めている。

2 指導上の留意事項指導上の留意事項

火災事故の発生原因としてとしては、人的要因である維持管理不十分や操作確認不十分、操作未実施が多く、着火原因では、静電気火花や高温表面熱が多い。次に、流出事故の発生原因としては、物的要因である腐食疲労等劣化が最も多く、次いで人的要因である操作確認不十分によるものが多い。

火災事故及び流出事故のいずれの場合においても、人的要因に対する対策としては、予防規程等を活用した保安教育の徹底、物的要因の対策としては施設及び設備等の経年劣化も踏まえた点検、維持管理の徹底について、あらゆる機会を活用し指導されたい。

また、危険物に係る業界団体、消防関係機関等により策定された「令和2年度危険物等事故防止対策実施要領」と別添1及び別添2の統計データを参考とし、都道府県別の事故発生状況や危険物施設の態様を踏まえた事故防止対策を実施していくことが必要である。特に、令和元年中も含め近年の事故件数や事故発生率が大きく増減したものについては、その原因や再発防止について検討されたい。

3 風水害対策の留意事項

梅雨期や台風期を迎えるに当たり、「危険物施設の風水害対策ガイドラインについて」（令和2年3月27日消防危第86号・消防災第55号）に示す危険物施設の風水害対策ガイドラインにおける各事項を確認の上、事業所の実情に応じて必要な対策を講ずるよう指導されたい。

4 令和元年中の危険物施設における火災事故及び流出事故の代表的な事例について

令和元年中の危険物施設における火災事故及び流出事故の中から、重大事故を中心に13件の事故事例について、事故概要、事業所における事故を踏まえた対策と効果、及び事故例から得られる事故防止対策上のポイント等を別添3のとおりとりまとめたことから、事業所における従業員への保安教育等に活用されたい。

別添1～別添3 略

※ 全文については、消防庁ホームページに掲載されておりますので参照ください。
<http://www.fdma.go.jp/>

業務報告

4月の試験実施結果

■危険物取扱者試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
甲種	3	0	0.0
乙種第1類	24	16	66.7
乙種第2類	13	7	53.8
乙種第3類	14	6	42.9
乙種第4類	120	19	15.8
乙種第5類	11	6	54.5
乙種第6類	27	13	48.1
乙種計	209	67	32.1
丙種	0	0	0.0
合計	212	67	31.6

危険物取扱者試験実施支部等
青森、福島

■消防設備士試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
甲種特類	0	0	0.0
甲種第1類	0	0	0.0
甲種第2類	0	0	0.0
甲種第3類	0	0	0.0
甲種第4類	0	0	0.0
甲種第5類	0	0	0.0
甲種計	0	0	0.0
乙種第1類	0	0	0.0
乙種第2類	0	0	0.0
乙種第3類	0	0	0.0
乙種第4類	0	0	0.0
乙種第5類	0	0	0.0
乙種第6類	0	0	0.0
乙種第7類	0	0	0.0
乙種計	0	0	0.0
合計	0	0	0.0

消防設備士試験実施支部等

4月中の免状作成状況

(単位: 件)

	危険物取扱者免状		消防設備士免状		合計	
		本年度累計		本年度累計		本年度累計
新規免状交付	8,926	8,926	4,116	4,116	13,042	13,042
本籍等の書換え	128	128	17	17	145	145
写真書換え	8,033	8,033	784	784	8,817	8,817
再交付	927	927	82	82	1,009	1,009
計	18,014	18,014	4,999	4,999	23,013	23,013

※ 免状交付申請等の受付件数を計上しています。

※ 本籍等の書換えについては、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数を計上しています。

5月の試験実施結果

■危険物取扱者試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
甲種	0	0	0.0
乙種第1類	19	12	63.2
乙種第2類	16	10	62.5
乙種第3類	10	7	70.0
乙種第4類	238	110	46.2
乙種第5類	17	7	41.2
乙種第6類	22	8	36.4
乙種計	322	154	47.8
丙種	12	3	25.0
合計	334	157	47.0

危険物取扱者試験実施支部等
石川、京都、兵庫、佐賀

■消防設備士試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
甲種特類	0	0	0.0
甲種第1類	0	0	0.0
甲種第2類	0	0	0.0
甲種第3類	0	0	0.0
甲種第4類	0	0	0.0
甲種第5類	0	0	0.0
甲種計	0	0	0.0
乙種第1類	0	0	0.0
乙種第2類	0	0	0.0
乙種第3類	0	0	0.0
乙種第4類	0	0	0.0
乙種第5類	0	0	0.0
乙種第6類	0	0	0.0
乙種第7類	0	0	0.0
乙種計	0	0	0.0
合計	0	0	0.0

消防設備士試験実施支部等

5月中の免状作成状況

(単位:件)

	危険物取扱者免状		消防設備士免状		合計	
		本年度累計		本年度累計		本年度累計
新規免状交付	1,082	10,008	1,048	5,164	2,130	15,172
本籍等の書換え	107	235	20	37	127	272
写真書換え	6,740	14,773	556	1,340	7,296	16,113
再交付	717	1,644	49	131	766	1,775
計	8,646	26,660	1,673	6,672	10,319	33,332

※ 免状交付申請等の受付件数を計上しています。

※ 本籍等の書換えについては、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数を計上しています。

危険物取扱者試験日程（願書受付が8・9月にかかる日程分を抜粋）
 ※試験日など変更になることがありますので、ホームページ等で確認して下さい。

支部名	試験日		受付期間				甲種	乙種						丙種
			電子申請		書面申請			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	
	月日	曜日	開始日	締切日	開始日	締切日								
北海道	9月6日	日	7月27日	8月3日	7月30日	8月6日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月11日	日	8月28日	9月4日	8月31日	9月7日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月1日	日	9月25日	10月2日	9月28日	10月5日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
青森	11月7日	土	9月15日	10月2日	9月18日	10月5日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月8日	日	9月15日	10月2日	9月18日	10月5日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月14日	土	9月15日	10月2日	9月18日	10月5日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月15日	日	9月15日	10月2日	9月18日	10月5日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月21日	土	9月15日	10月2日	9月18日	10月5日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月28日	土	9月15日	10月2日	9月18日	10月5日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
岩手	9月26日	土	8月10日	8月17日	8月13日	8月20日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月3日	土	8月10日	8月17日	8月13日	8月20日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月10日	土	8月10日	8月17日	8月13日	8月20日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
秋田	10月4日	日	8月18日	9月1日	8月21日	9月4日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月11日	日	8月18日	9月1日	8月21日	9月4日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
山形	10月10日	土	8月28日	9月7日	8月31日	9月10日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月24日	土	9月4日	9月14日	9月7日	9月17日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月7日	土	9月25日	10月5日	9月28日	10月8日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
福島	10月10日	土	8月16日	8月25日	8月19日	8月28日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月17日	土	8月16日	8月25日	8月19日	8月28日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月31日	土	8月30日	9月8日	9月2日	9月11日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月7日	土	9月6日	9月15日	9月9日	9月18日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月14日	土	9月6日	9月15日	9月9日	9月18日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
栃木	11月8日	日	9月4日	9月15日	9月7日	9月18日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
群馬	11月15日	日	9月25日	10月6日	9月28日	10月9日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
埼玉	9月27日	日	8月10日	8月18日	8月13日	8月21日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
千葉	11月22日	日	9月14日	10月6日	9月17日	10月9日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月29日	日	9月14日	10月6日	9月17日	10月9日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	12月6日	日	9月14日	10月6日	9月17日	10月9日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
東京	9月12日	土	7月19日	7月31日	7月22日	8月3日	甲種							
	9月20日	日	7月24日	8月4日	7月27日	8月7日					乙4			
	9月27日	日	7月24日	8月4日	7月27日	8月7日					乙4			
	10月3日	土	8月10日	8月21日	8月13日	8月24日					乙4			
	10月10日	土	8月17日	8月28日	8月20日	8月31日		乙1	乙2	乙3		乙5	乙6	丙種
	10月18日	日	8月24日	9月4日	8月27日	9月7日					乙4			
	10月24日	土	8月31日	9月11日	9月3日	9月14日					乙4			
	10月30日	金	9月4日	9月15日	9月7日	9月18日					乙4			
	11月3日	火	9月4日	9月15日	9月7日	9月18日		乙1	乙2	乙3		乙5	乙6	丙種
11月7日	土	9月14日	9月25日	9月17日	9月28日					乙4				
11月21日	土	9月28日	10月9日	10月1日	10月12日					乙4				
新潟	9月6日	日	7月17日	7月31日	7月20日	8月3日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
富山	10月10日	土	8月23日	9月1日	8月26日	9月4日	甲種	乙1	乙2	乙3		乙5	乙6	丙種
	10月11日	日	8月23日	9月1日	8月26日	9月4日					乙4			
	10月18日	日	8月23日	9月1日	8月26日	9月4日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月24日	土	8月23日	9月1日	8月26日	9月4日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
福井	10月25日	日	9月12日	9月21日	9月15日	9月24日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月1日	日	9月12日	9月21日	9月15日	9月24日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
山梨	10月4日	日	8月17日	8月24日	8月20日	8月27日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月17日	土	8月17日	8月24日	8月20日	8月27日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
長野	10月4日	日	8月14日	8月25日	8月17日	8月28日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月11日	日	8月14日	8月25日	8月17日	8月28日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月18日	日	8月14日	8月25日	8月17日	8月28日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月25日	日	8月14日	8月25日	8月17日	8月28日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
岐阜	10月18日	日	9月1日	9月11日	9月4日	9月14日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月1日	日	9月1日	9月11日	9月4日	9月14日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
静岡	11月7日	土	8月28日	9月7日	8月31日	9月10日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月8日	日	8月28日	9月7日	8月31日	9月10日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
愛知	8月30日	日	7月25日	8月3日	7月28日	8月6日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	9月5日	土	7月25日	8月3日	7月28日	8月6日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	9月27日	日	8月22日	8月31日	8月25日	9月3日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月25日	日	9月20日	9月28日	9月23日	10月1日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月1日	日	9月20日	9月28日	9月23日	10月1日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種

三重	11月 7日	土	9月 6日	9月15日	9月 9日	9月18日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月14日	土	9月 6日	9月15日	9月 9日	9月18日					乙4			丙種
	11月15日	日	9月 6日	9月15日	9月 9日	9月18日					乙4			丙種
滋賀	10月11日	日	8月22日	9月 4日	8月25日	9月 7日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
京都	10月18日	日	8月28日	9月 7日	8月31日	9月10日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月 1日	日	8月28日	9月 7日	8月31日	9月10日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
大阪	9月27日	日	8月17日	8月24日	8月20日	8月27日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
兵庫	9月13日	日	7月28日	8月10日	7月31日	8月13日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	9月20日	日	7月28日	8月10日	7月31日	8月13日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
奈良	11月15日	日	9月29日	10月 6日	10月 2日	10月 9日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
和歌山	10月25日	日	8月22日	8月31日	8月25日	9月 3日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
鳥取	10月18日	日	8月17日	8月31日	8月20日	9月 3日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月25日	日	8月17日	8月31日	8月20日	9月 3日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
島根	11月 1日	日	8月21日	9月 4日	8月24日	9月 7日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月 8日	日	8月21日	9月 4日	8月24日	9月 7日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
岡山	10月25日	日	8月28日	9月 7日	8月31日	9月10日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
広島	11月15日	日	9月29日	10月 6日	10月 2日	10月 9日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
山口	11月21日	土	9月 1日	9月15日	9月 4日	9月18日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月22日	日	9月 1日	9月15日	9月 4日	9月18日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
徳島	11月14日	土	9月29日	10月 6日	10月 2日	10月 9日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
愛媛	10月25日	日	8月25日	9月 4日	8月28日	9月 7日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
高知	10月25日	日	9月 1日	9月14日	9月 4日	9月17日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月 1日	日	9月 1日	9月14日	9月 4日	9月17日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
福岡	10月25日	日	8月22日	9月 4日	8月25日	9月 7日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月 1日	日	8月22日	9月 4日	8月25日	9月 7日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
佐賀	11月22日	日	9月25日	10月 6日	9月28日	10月 9日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
長崎	11月21日	土	9月 4日	9月15日	9月 7日	9月18日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
熊本	11月 8日	日	9月 7日	9月14日	9月10日	9月17日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
大分	11月15日	日	9月 6日	9月15日	9月 9日	9月18日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
宮崎	11月15日	日	9月 4日	9月15日	9月 7日	9月18日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
鹿児島	11月 7日	土	9月15日	9月28日	9月18日	10月 1日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種

消防設備士試験日程（願書受付が8・9月にかかる日程分を抜粋）

※試験日など変更になることがありますので、ホームページ等で確認して下さい。

支部名	試験日		受付期間				甲種					乙種							
			電子申請		書面申請		特類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類
	月 日	曜日	開始日	締切日	開始日	締切日													
北海道	10月11日	日	8月28日	9月 4日	8月31日	9月 7日		甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
宮城	10月11日	日	8月24日	9月 1日	8月27日	9月 4日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
秋田	11月 1日	日	9月11日	9月28日	9月14日	10月 1日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
山形	9月 5日	土	7月24日	8月 3日	7月27日	8月 6日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
埼玉	9月 6日	日	7月19日	7月31日	7月22日	8月 3日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
東京	9月22日	火	7月24日	8月 4日	7月27日	8月 7日		甲1											
	9月26日	土	7月24日	8月 4日	7月27日	8月 7日					甲4								
	10月 4日	日	8月10日	8月21日	8月13日	8月24日												乙6	
	10月17日	土	8月24日	9月 4日	8月27日	9月 7日									乙4				乙7
	10月25日	日	8月31日	9月11日	9月 3日	9月14日		甲1											
	10月31日	土	9月 4日	9月15日	9月 7日	9月18日	特類		甲2	甲3		甲5							
新潟	10月11日	日	8月18日	9月 4日	8月21日	9月 7日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
石川	11月 1日	日	9月 7日	9月14日	9月10日	9月17日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
奈良	9月20日	日	8月 3日	8月11日	8月 6日	8月14日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
鳥取	11月22日	日	9月14日	9月28日	9月17日	10月 1日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
徳島	10月11日	日	8月24日	9月 1日	8月27日	9月 4日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
沖縄	11月 1日	日	9月22日	9月29日	9月25日	10月 2日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7

Voice...

編集後記

季節は夏、7月入り本格的に暑い日が続くようになりました。新型コロナウイルス感染症の対策として、3密の回避、マスクの使用、消毒などが依然として求められています。

マスク使用による熱中症も心配される場所です。十分な栄養摂取と睡眠、適度な運動で体調管理に気を付けましょう。

今月号は、令和元年度の事業報告、試験の実施状況、免状の作成状況等を業務情報として特集しました。お役に立てていただければ幸いです。

2020 July

都道府県
後援：消防庁

挑戦のその先へ
努力は裏切らない

10年毎の
免状更新

せと だいや
瀬戸 大也

危険物
取扱者

危険物取扱者免状

見本

氏名	消防 花子		
生年月日	昭和57年10月5日	本籍	東京都
種別	交付年月日	交付番号	交付知事
乙種1類			
乙種2類			
乙種3類	H22.04.01	00000	東京
乙種4類			
乙種5類			
乙種6類			
丙種			

写真の書換えは
平成32年
4月1日まで
0000 0000 0000

印

消防
設備士

消防設備士免状

見本

氏名	消防 花子		
生年月日	昭和57年10月5日	本籍	東京都
種別	交付年月日	交付番号	交付知事
防火設備士			
防煙設備士			
防音設備士			
防振設備士			
防熱設備士			
防湿設備士			
防臭設備士			
防汚設備士			
防塵設備士			
防騒音設備士			
防電磁波設備士			
防熱防湿設備士			
防臭防汚設備士			
防塵防騒音設備士			
防電磁波防熱防湿設備士			
防臭防汚防塵防騒音設備士			
防電磁波防熱防湿防臭防汚防塵防騒音設備士			

写真の書換えは
平成32年
4月1日まで
0000 0000 0000

印

免状は交付日から10年ごとに書換えが必要です。
写真の書換え期限が過ぎていた方は速やかに更新手続きを行ってください。

消防試験研究センターだより

Voice...

vol.379 令和2年7月発行

編集・発行

一般財団法人消防試験研究センター

〒100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番2号 大同生命霞が関ビル19階

TEL.050(3803)9279(企画研究部) / FAX.03(5511)2751

ホームページ <http://www.shoubo-shiken.or.jp/>

モバイルサイト <http://www.shoubo-shiken.or.jp/m/>

